第43回　全国高等専門学校体育大会
第32回　全日本高等専門学校バドミントン選手権大会



大会期日　平成20年 8月23日（土） 24日（日）

競技会場　函館市民体育館

主　　催	(社)全国高等専門学校体育協会 (財)日本バドミントン協会
担当地区	北海道地区
担 当 校	函館工業高等専門学校
開 催 校	函館工業高等専門学校
主　　管	(社)全国高等専門学校体育協会バドミントン競技専門部 北海道バドミントン協会
後　　援	文部科学省　(財)日本体育協会 北海道　北海道教育委員会　(財)北海道体育協会 函館市　函館市教育委員会　函館市体育協会 函館地区バドミントン協会

社団法人全国高等専門学校体育協会マーク

全国高等専門学校体育協会マーク



手は技術を表わす。
手を開いた親指の部分を首、他の４本を翼にして、鳩を表徴している。
鳩は平和と共に伝書鳩の速力と正確さを表徴する。
下の楕円は大地を意味し、技術がしっかりと地についたものであることを求める。
心、技、体の３つが立派に調和した姿を青年諸君に強く期待する。
私はこのような心持でこのマークを作ったのである。

昭和42年　盛夏　　赤　澤　鉞太郎

作家のご紹介

元　京都高等工芸学校助教授
元　京都市染色試験所図案部長

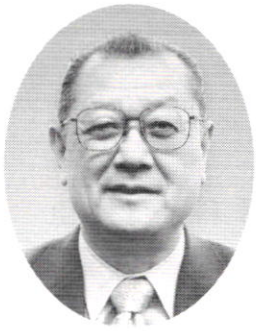
目　　次

社団法人全国高等専門学校体育協会会長あいさつ・・・・・・・・・　1
文部科学大臣　祝辞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
第４３回全国高等専門学校体育大会実行委員長あいさつ・・・・・　3
大　会　役　員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
実　行　委　員　会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
第４３回全国高等専門学校体育大会実施要項・・・・・・・・・・・　9
競技種目・競技日程・開催校・競技会場一覧表・・・・・・・・・・１２

第43回全国高等専門学校体育大会
第32回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会

歓迎のあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
大会日程・式典次第・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７
大会役員・競技役員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８
実　施　要　項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１
競技運営上・審判上・体育館使用上の注意・・・・・・・・・・・・　２４
大　会　会　場　図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２５
タイムテーブル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６
競　技　組　合　わ　せ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２７
選　手　名　簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３３
栄　光　の　記　録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４５

あ　い　さ　つ



社団法人　全国高等専門学校体育協会
会　長　　長谷川　　淳

このたび、北海道を担当地区として開催されます第43回全国高等専門学校体育大会に、全国61校62キャンパスの高等専門学校を代表する学生諸君が集い「北の大地で輝く瞬間（とき）」をスローガンに、盛大なる若人の祭典が繰り広げられますことは、誠に喜びにたえません。

函館工業高等専門学校を担当校とし、同校並びに旭川工業高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校、釧路工業高等専門学校及び神戸市立工業高等専門学校の５校を開催校として14種目が行われます。全国８地区の予選を勝ち抜いて本大会に出場の栄誉を得られた皆さんが、厳しい練習の中でこれまで培ってこられた力を遺憾なく発揮され、正々堂々と健闘されるとともに、それぞれの競技を通して全国高専生の友情の輪が育まれることを期待しております。

本大会の目的は、高等専門学校教育の一環として、学生に広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身とも健康な学生を育成するとともに、高等専門学校相互の親睦を図ることにあります。

参加される皆さん一人ひとりが本大会の目的を念頭におかれ、高等専門学校の学生として、スポーツを愛する人間として節度ある行動のもとに、所期の目的を達成されますことを期待します。

終わりになりますが、本大会の開催に当たり多大なるご尽力をいただきました競技開催校の関係者各位に深く感謝いたします。

また、主催していただました各競技団体、ご支援くださいました文部科学省、財団法人日本体育協会、北海道、函館市、苫小牧市、旭川市、釧路市をはじめ、多数の関係機関・団体、ご協力くださいました多くの皆様に心よりお礼申し上げ挨拶といたします。

祝　　辞

文部科学大臣
鈴　木　恒　夫

第43回全国高等専門学校体育大会が、全国各地から多数の選手・関係者の参加を得て盛大に開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

日ごろから厳しい練習に取り組み、晴れて全国大会の舞台に出場された選手の皆さん、本当におめでとうございます。また、選手をこれまで支えてきた指導者、御家族の皆さんの尽力に心から敬意を表します。

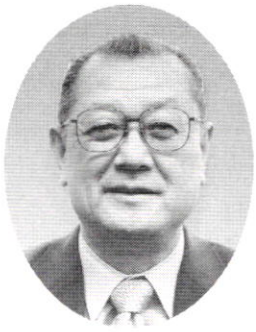
我が国においては、複雑化する社会の中で、人間関係が希薄となって、精神的ストレスが増加したり、日常生活において体を動かす機会が減少することによって、体力が低下したりするなど、心身両面にわたる健康上の問題が顕在化してきています。そうした中でスポーツは、心身の健全な発達を促し、人々に夢や感動を与えるとともに、人と人とのつながりを深める重要な役割を担ってきました。

本大会は、全国の高等専門学校生の目指す最高峰の大会であると同時に、学生の心身の健康の保持増進や我が国のスポーツ振興に大きく貢献してきた伝統ある大会です。

選手の皆さんは、それぞれ健康状態を万全に保ち、日ごろ積み重ねてきた練習の成果を最大限に発揮してください。また、全国各地から集まった仲間との親睦を大いに深め、今後の人生における大きな財産としてくれることを期待します。

結びに、社団法人全国高等専門学校体育協会をはじめ、本大会の開催に尽力された関係の皆様に深く敬意を表するとともに、本大会が今後ますます発展することをお祈りして、祝辞といたします。

あ　い　さ　つ



第43回全国高等専門学校体育大会
実行委員長　**長谷川　淳**
（函館工業高等専門学校長）

このたび、全国61校の高等専門学校を代表する2,000有余名の選手の皆さんをここ北海道にお迎えし、第43回全国高等専門学校体育大会を開催できますことを、たいへんうれしく思います。開催校の各高等専門学校及び担当校を代表して心から歓迎申し上げます。

本大会は、14種目の競技が苫小牧高専（バレーボール・サッカー・水泳）、旭川高専（バスケットボール・硬式野球・テニス）、釧路高専（ソフトテニス・卓球・剣道・ハンドボール）、神戸市立高専（ラグビーフットボール）、函館高専（陸上・柔道・バトミントン）の５高専で開催されます。

第43回大会のスローガンは、『北の大地で輝く瞬間（とき）』です。このスローガンには、各地区の代表として全国大会に出場する選手の皆さんが、日頃の練習の成果を主開催地域である北海道で遺憾なく発揮され、青春の熱き瞬間を満喫していただきたいという思いが込められています。

また、北海道洞爺湖サミットが行われた北の大地で、競技に参加された選手の皆さんがお互いの交流を深め、お互いに輝く一時を過ごしていただきたいという思いも込められています。

この大会を通じて全国の高専生同士が爽やかな友情を育み、学校の枠を越えた親睦と交流が一層深められ、選手の皆さんにとって、北の大地、北海道が生涯の輝かしい思い出の一時となることを祈念する次第です。

終わりになりますが、本大会を開催するに当たり、多大なご支援、ご協力をいただきました関係諸団体並びに関係各位に心から感謝申し上げまして、歓迎の挨拶といたします。

大　会　役　員

名　誉　会　長

(財) 日本陸上競技連盟会長	河野洋平
(財) 日本バスケットボール協会会長代行	石川　武
(財) 日本バレーボール協会会長	立木正夫
(財) 全日本柔道連盟会長	嘉納行光
(財) 日本サッカー協会会長	犬飼基昭
(財) 日本ハンドボール協会会長	渡邊佳英
(財) 日本テニス協会会長	盛田正明
(財) 日本バドミントン協会会長	綿貫民輔

会　長

函館工業高等専門学校長　長谷川　淳

副　会　長

神戸市立工業高等専門学校長	黒田勝彦	近畿大学工業高等専門学校長	神野　稔
苫小牧工業高等専門学校長	秋山俊彦	釧路工業高等専門学校長	岸浪建史
旭川工業高等専門学校長	高橋英明		
(財) 日本陸上競技連盟副会長	中曽根弘文	(財) 日本陸上競技連盟副会長	鈴木義元
(財) 日本テニス協会副会長	明石　康	(財) 日本テニス協会副会長	川廷榮一
(財) 日本ハンドボール協会副会長	市原則之	(財) 日本ハンドボール協会副会長	山下　泉
(財) 日本ハンドボール協会副会長	竹野奉昭	(財) 日本ハンドボール協会副会長	鶴保庸介
(財) 日本バドミントン協会副会長	三宅祐司	(財) 日本バドミントン協会副会長	清水　務

顧　問

文部科学省高等教育局長	徳永　保	文部科学省スポーツ・青少年局長	山中伸一
(財) 日本体育協会会長	森　喜朗	(財) 全日本剣道連盟会長	武安義光
(財) 日本サッカー協会副会長	小倉純二	(財) 日本サッカー協会副会長	鬼武健二
(財) 日本サッカー協会副会長	大仁邦彌	(財) 日本水泳連盟会長	林　利博
北海道知事	高橋はるみ	北海道教育委員会教育長	吉田洋一
函館市長	西尾正範	苫小牧市長	岩倉博文
釧路市長	伊東良孝	旭川市長	西川将人
函館市教育委員会教育長	多賀谷　智	苫小牧市教育委員会教育長	山田眞久
釧路市教育委員会教育長	林　正昭	旭川市教育委員会教育長	鳥本弘昭
函館市体育協会会長	森川基嗣	(財) 苫小牧市体育協会会長	武田芳明
釧路市体育協会会長	清水幸彦	(財) 旭川市体育協会会長	増田一雄
(財) 北海道体育協会会長	堀　達也	(財) 北海道陸上競技協会会長	勝木省三
北海道バスケットボール協会会長	萩原一利	北海道バレーボール協会会長	中川利若
北海道ソフトテニス連盟会長	中島尚俊	北海道卓球連盟会長	高木繁光

(社)北海道柔道連盟会長	高梨幸輔	(財)北海道剣道連盟会長	山下廣勝
北海道高等学校野球連盟会長	酒井周文	(財)北海道サッカー協会会長	村井將一
北海道ハンドボール協会会長	清水誠一	北海道テニス協会会長	松木武
北海道バドミントン協会会長	岩崎昭郎	北海道水泳連盟会長	木下綾子
道南陸上競技協会理事長	岡部壽一	函館柔道連盟会長	近谷忠美
函館地区バドミントン協会会長	加藤清郎	苫小牧地区サッカー協会会長	佐々木紀夫
苫小牧バレーボール協会会長	八杉嘉照	釧路ソフトテニス協会会長	松尾暢夫
釧路卓球協会会長	亀嶋孝尚	釧路ハンドボール協会会長	清水幸彦
全釧路剣道連盟会長	栗林延次	北海道高等学校野球連盟旭川支部長	牧野篤
旭川地区バスケットボール協会会長	前野和義	旭川テニス協会会長	杉村潤

参与

八戸工業高等専門学校長	井口泰孝	奈良工業高等専門学校長	冷水佐壽
鹿児島工業高等専門学校長	赤坂裕	一関工業高等専門学校長	丹野浩一
東京工業高等専門学校長	水谷惟恭	富山工業高等専門学校長	米田政明
和歌山工業高等専門学校長	韮澤弘志	宇部工業高等専門学校長	幡中憲治
新浜工業高等専門学校長	森澤良水	都城工業高等専門学校長	三村洋史
八代工業高等専門学校長	宮川英明		

実　行　委　員　会

実行委員長

函館工業高等専門学校長　　長谷川　淳

副委員長

釧路工業高等専門学校長	岸浪建史	苫小牧工業高等専門学校長	秋山俊彦
旭川工業高等専門学校長	高橋英明	神戸市立工業高等専門学校長	黒田勝彦
函館工業高等専門学校教務主事	切明隆司	函館工業高等専門学校学生主事	浦田清

委員

釧路工業高等専門学校学生主事	小田島本有	苫小牧工業高等専門学校学生主事	長谷川博一
旭川工業高等専門学校学生主事	長岡耕一	神戸市立工業高等専門学校学生主事	中川一穂
釧路工業高等専門学校体育主任	舘岡正樹	苫小牧工業高等専門学校体育主任	中島広基
旭川工業高等専門学校体育主任	小西卓哉	神戸市立工業高等専門学校体育主任	寺田雅裕
釧路工業高等専門学校事務部長	若狭谷茂夫	苫小牧工業高等専門学校事務部長	原野敏幸
旭川工業高等専門学校事務部長	佐藤雅信	神戸市立工業高等専門学校事務室長	樽谷利信
函館工業高等専門学校事務部長	板橋博		
釧路工業高等専門学校学生課長	青木輝男	苫小牧工業高等専門学校学生課長	宮田日出夫
旭川工業高等専門学校学生課長	長縄保則	函館工業高等専門学校学生課長	田邊彰宏

競　技　部

部　長	函館工業高等専門学校	浦　田　　清	副部長	苫小牧工業高等専門学校	中　島　広　基
副部長	釧路工業高等専門学校	舘　岡　正　樹	〃	旭川工業高等専門学校	小　西　卓　哉
〃	神戸市立工業高等専門学校	寺　田　雅　裕			
委　員	釧路工業高等専門学校	三　島　利　紀	委　員	苫小牧工業高等専門学校	関　　朋　昭
〃	神戸市立工業高等専門学校	春　名　　桂	〃	神戸市立工業高等専門学校	小森田　　敏
〃	神戸市立工業高等専門学校	中　川　一　穂	〃	函館工業高等専門学校	清　野　國　安

種目別競技委員

陸上競技

委員長	函館工業高等専門学校	奥　平　　理
委　員	函館工業高等専門学校	四　宮　宏　貴
〃	函館工業高等専門学校	菅　　仁　志
〃	函館工業高等専門学校	田　畑　緩　己
〃	函館工業高等専門学校	清　野　晃　之

バスケットボール

委員長	旭川工業高等専門学校	津　田　勝　幸
委　員	旭川工業高等専門学校	小　林　　渡
〃	旭川工業高等専門学校	佐　竹　利　文
〃	旭川工業高等専門学校	杉　本　敬　祐
〃	旭川工業高等専門学校	千　葉　　誠

バレーボール

委員長	苫小牧工業高等専門学校	藤　島　勝　弘
委　員	苫小牧工業高等専門学校	澤　田　知　之
〃	苫小牧工業高等専門学校	舟　越　久　敏
〃	苫小牧工業高等専門学校	石　川　希　美
〃	苫小牧工業高等専門学校	甲　野　裕　之
〃	苫小牧工業高等専門学校	高　澤　幸　治

ソフトテニス

委員長	釧路工業高等専門学校	浦　家　淳　博
委　員	釧路工業高等専門学校	坂　口　直　志
〃	釧路工業高等専門学校	髙　橋　　晃

卓　球

委員長	釧路工業高等専門学校	加　藤　岳　人
委　員	釧路工業高等専門学校	小　杉　　淳

柔　道

委員長	函館工業高等専門学校	清　野　國　安
委　員	函館工業高等専門学校	長　尾　輝　夫
〃	函館工業高等専門学校	高　橋　直　樹

剣　道

委員長	釧路工業高等専門学校	渡　邊　聖　司
委　員	函館工業高等専門学校	澤　村　秀　治
〃	苫小牧工業高等専門学校	丹　野　　格
〃	旭川工業高等専門学校	久志野　彰　寛
〃	釧路工業高等専門学校	岩　渕　義　孝
〃	釧路工業高等専門学校	山　田　洋　明

硬式野球

委員長	旭川工業高等専門学校	古　崎　　睦
委　員	旭川工業高等専門学校	片　山　則　昭
〃	旭川工業高等専門学校	富　樫　　巌
〃	旭川工業高等専門学校	戸　村　豊　明
〃	旭川工業高等専門学校	水　野　優　子

サッカー

委員長	苫小牧工業高等専門学校	中　村　　努
委　員	苫小牧工業高等専門学校	関　　朋　昭
〃	苫小牧工業高等専門学校	佐　藤　　森
〃	苫小牧工業高等専門学校	大　島　和　浩
〃	苫小牧工業高等専門学校	大　橋　智　志

ハンドボール

委員長	釧路工業高等専門学校	草　苅　敏　夫
委　員	釧路工業高等専門学校	麓　　耕　二
〃	釧路工業高等専門学校	本　間　宏　利
〃	釧路工業高等専門学校	鈴　木　邦　康

テニス

委員長	旭川工業高等専門学校	石井　悟
委　員	旭川工業高等専門学校	近藤真一
〃	旭川工業高等専門学校	保田彰彦
〃	旭川工業高等専門学校	鈴木智己

水　泳

委員長	苫小牧工業高等専門学校	岩波俊介
委　員	苫小牧工業高等専門学校	村本　充
〃	苫小牧工業高等専門学校	奈須野　裕
〃	苫小牧工業高等専門学校	小島洋一郎
〃	苫小牧工業高等専門学校	小野真嗣

バドミントン

委員長	函館工業高等専門学校	古俣和直
委　員	函館工業高等専門学校	森谷健二
〃	函館工業高等専門学校	後藤　等
〃	函館工業高等専門学校	鳴海雅哉

ラグビーフットボール

委員長	兵庫県ラグビーフットボール協会会長	駒井正彦
委　員	神戸市立工業高等専門学校	小森田　敏
〃	神戸市立工業高等専門学校	森本義則
〃	神戸市立工業高等専門学校	中西　宏

第４３回（平成２０年度）全国高等専門学校体育大会実施要項

１．開催趣旨

全国高等専門学校体育大会は、高等専門学校教育の一環として、学生に広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な学生を育成するとともに高専相互の親睦を図ることを目的として開催する。

２．主　　催

社団法人　全国高等専門学校体育協会
財団法人　日本陸上競技連盟
財団法人　日本バスケットボール協会
財団法人　日本バレーボール協会
財団法人　日本サッカー協会
財団法人　日本ラグビーフットボール協会
財団法人　日本ハンドボール協会
財団法人　日本テニス協会
財団法人　日本バドミントン協会

３．主　　管

（社）全国高等専門学校体育協会陸上競技専門部、（社）全国高等専門学校体育協会バスケットボール競技専門部、（社）全国高等専門学校体育協会バレーボール競技専門部、（社）全国高等専門学校体育協会ソフトテニス競技専門部、（社）全国高等専門学校体育協会卓球競技専門部、（社）全国高等専門学校体育協会柔道競技専門部、（社）全国高等専門学校体育協会剣道競技専門部、（社）全国高等専門学校体育協会野球競技専門部、（社）全国高等専門学校体育協会サッカー競技専門部、（社）全国高等専門学校体育協会ラグビーフットボール競技専門部、（社）全国高等専門学校体育協会ハンドボール競技専門部、（社）全国高等専門学校体育協会テニス競技専門部、（社）全国高等専門学校体育協会バドミントン競技専門部、（社）全国高等専門学校体育協会水泳競技専門部、全国高等専門学校サッカー連盟、関西ラグビーフットボール協会

（財）北海道陸上競技協会、 道南陸上競技協会、 北海道バスケットボール協会、北海道バレーボール協会、北海道ソフトテニス連盟、釧路ソフトテニス協会、北海道卓球連盟、釧路卓球協会、（社）北海道柔道連盟、（財）北海道剣道連盟、 全釧路剣道連盟、（財）北海道サッカー協会、 兵庫県ラグビーフットボール協会、北海道ハンドボール協会、釧路ハンドボール協会、北海道テニス協会、旭川テニス協会、北海道バドミントン協会、北海道水泳連盟

４．後　　援

文部科学省
（財）日本体育協会、（財）日本ソフトテニス連盟、（財）日本卓球協会、（財）全日本柔道連盟、
（財）全日本剣道連盟、（財）日本水泳連盟

北海道
北海道教育委員会、兵庫県教育委員会

函館市、旭川市、苫小牧市、釧路市、釧路町
函館市教育委員会、旭川市教育委員会、苫小牧市教育委員会、釧路市教育委員会、釧路町教育委員会、

神戸市教育委員会
(財) 北海道体育協会
函館市体育協会、 (財) 旭川市体育協会、 (財) 苫小牧市体育協会、釧路市体育協会、釧路町体育協会

北海道高等学校野球連盟、旭川地区バスケットボール協会、苫小牧バレーボール協会、苫小牧地区サッカー協会、函館柔道連盟、函館地区バドミントン協会

朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、産業経済新聞社、日本経済新聞社、日刊工業新聞社、フジサンケイビジネスアイ、共同通信社、文教ニュース社、北海道新聞社、釧路新聞社、NHK、札幌テレビ放送、テレビ北海道、北海道放送、北海道テレビ放送、北海道文化放送

5．担当地区　北海道地区

6．担 当 校　函館工業高等専門学校

7．開 催 校
函館工業高等専門学校、旭川工業高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校、釧路工業高等専門学校、神戸市立工業高等専門学校

8．大会期日　平成２０年　８月１７日（日）～２７日（水）
平成２１年　１月４日（日）・５日（月）・７日（水）・９日（金）
（冬季は、ラグビーフットボール競技のみ）

9．競技種目・競技日程・競技開催校・競技会場　一覧表のとおり

１０．事務局
第４３回全国高等専門学校体育大会事務局を、函館工業高等専門学校内に置く。
各種目ごとの事務局は該当競技開催校に置く。

１１．競技方法　各種目別競技実施要項による。

１２．参加資格及び参加人数
全国高等専門学校体育大会開催規則（制定 平成６年３月２９日総会）及び各種目別競技実施要項による。

１３．表　彰
全国高等専門学校体育大会開催規則（制定 平成６年３月２９日総会）及び各種目別競技実施要項による。

１４．参加申込方法　各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

１５．競技の組合せ　各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

１６．選手の変更　各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

１７．開会式及び閉会式

（１）　総合開会式は実施しない。

（２）　種目別開会式及び閉会式については、各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

１８．打合せのための時間

各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。

１９．分担金・及び参加料

（１）　分 担 金

分担金は、１校当たり２２５，０００円とし、別途、社団法人全国高等専門学校体育協会事務局から請求書が送付されるので、それにより社団法人全国高等専門学校体育協会事務局に納付する。

（２）　参 加 料

ア．団体戦は、各種目別競技実施要項記載の金額とする。１チーム当たりの金額は、「1,750円×最大登録選手数」により積算する。（ただし、ラグビーフットボールは、１チーム当たり31,250円）とする。）

イ．個人戦は、選手１人当たり1,750円とする。

ウ．団体戦に参加した選手が個人戦に参加する場合は、重複して参加料を徴収しない。

エ．納付は、各種目別競技実施要項又は各種目ごとに定めた方法による。なお、既納の参加料は返還しない。

２０．宿　　舎　宿舎の斡旋を希望する学校には、競技開催校で斡旋する。

２１．個人情報の取扱い

（１）　競技結果について、個人名などをホームページ、報道等に公表して欲しくない者は、学校を通して競技開催校事務局に申し出てください。事前に申し出のない場合は、公表します。

（２）　「独立行政法人等の保有する個人情報保護に関する法律」に基づき、大会参加申込書等により取得した個人情報は、大会運営、結果公表等の目的以外には使用いたしません。

２２．そ の 他

（１）　選手の競技中の事故については、主催者側で応急処置を施すが、その後の処置は当該校で行うこと。

（２）　選手は、必ず健康保険証又はそれに代わるものを持参すること。

（３）　独立行政法人日本スポーツ振興センター所定の用紙を各学校で持参すること。

第４３回　全国高等専門学校体育大会

競技種目 ・ 競技日程 ・ 開催校 ・ 競技会場一覧表

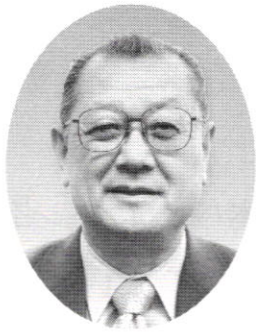
担当校：函館工業高等専門学校

競技種目		競技日程	開催校	競技会場
陸上競技		平成２０年８月１７日（日）	函館工業高等専門学校	函館市千代台公園陸上競技場
バスケットボール	男子	平成２０年 ８月２３日（土）～２４日（日）	旭川工業高等専門学校	旭川市総合体育館
	女子	平成２０年 ８月２３日（土）～２４日（日）	旭川工業高等専門学校	旭川藤女子高校 旭川市総合体育館
バレーボール	男子	平成２０年 ８月２３日（土）～２４日（日）	苫小牧工業高等専門学校	苫小牧市総合体育館
	女子	平成２０年 ８月２３日（土）～２４日（日）	苫小牧工業高等専門学校	苫小牧市総合体育館
ソフトテニス		平成２０年 ８月２３日（土）～２４日（日）	釧路工業高等専門学校	［晴天時］釧路市民テニスコート ［雨天時］釧路市コミュニティ体育館 「鳥取ドーム」
卓球		平成２０年 ８月２３日（土）～２４日（日）	釧路工業高等専門学校	釧路市厚生年金体育館
柔道		平成２０年８月２４日（日）	函館工業高等専門学校	函館工業高等専門学校 第１体育館
剣道		平成２０年８月２４日（日）	釧路工業高等専門学校	釧路工業高等専門学校 第１体育館
硬式野球		平成２０年 ８月２６日（火）～２７日（水）	旭川工業高等専門学校	花咲スポーツ公園旭川スタルヒン球場 東光スポーツ公園旭川ドリームスタジアム
サッカー		平成２０年 ８月２３日（土）～２６日（火）	苫小牧工業高等専門学校	苫小牧市緑ヶ丘公園サッカー場
ラグビーフットボール		平成２１年 １月４日（日）・５日（月） ７日（水）・９日（金）	神戸市立工業高等専門学校	神戸総合運動公園ユニバー記念競技場
ハンドボール		平成２０年 ８月２３日（土）～２４日（日）	釧路工業高等専門学校	釧路町総合体育館 釧路公立大学体育館
テニス		平成２０年 ８月２２日（金）～２４日（日）	旭川工業高等専門学校	［晴天時］花咲スポーツ公園テニスコート ［雨天時］鷹栖町総合体育館 旭川工業高等専門学校体育館
バドミントン		平成２０年 ８月２３日（土）～２４日（日）	函館工業高等専門学校	函館市民体育館
水泳		平成２０年８月２４日（日）	苫小牧工業高等専門学校	北海道立野幌総合運動公園温水プール

第43回全国高等専門学校体育大会

第32回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会

あ　い　さ　つ



函館工業高等専門学校
校　長　　長谷川　　淳

第43回（平成20年度）全国高等専門学校体育大会の開催にあたり、種目別開催校であります函館工業高等専門学校を代表しまして歓迎の挨拶を申し上げます。

高専体育大会は、スポーツを通して身体を鍛え、技術の向上とフェアプレーの精神の涵養を図り、心身ともに健全な学生を育成するとともに、高専間の交流と親睦を深めることを目的としております。

本大会は、北海道地区の４高専がラグビーフットボールを除く13種目の競技を開催いたしますが、本校においては、陸上競技、柔道、バトミントンの３種目を開催します。

これらの競技に参加されます選手諸君に対し、厳しい地区大会を勝ち抜き、全国大会出場の栄冠を獲得されたことを心よりお喜び申し上げます。本大会におきましても日頃の練習の成果を十分に発揮されますとともに大会スローガンである

「北の大地で輝く瞬間（とき）」を満喫していただきたいと祈念しております。

また、時間に余裕がありましたら、函館市内の名所旧跡を訪ねられ、この町の歴史とロマンを堪能していただきたいと思います。

終わりになりますが、本大会を開催するにあたり、多大なご支援とご協力を賜りました関係諸団体並びに関係各位に心から感謝申し上げますとともにご参加の皆さんを歓迎申し上げ挨拶といたします。

あ　い　さ　つ



財団法人　日本バドミントン協会
会　長　　**綿　貫　民　輔**

このたび、第32回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会が、世界三大夜景に数えられる名勝地、函館で開催されますことは、誠に喜ばしい限りであります。

全国各地区の予選を勝ち抜かれ、地区の代表として参加される選手諸君が、本大会におきまして日ごろの練習の成果を充分に発揮され、全力を尽くし、輝かしい成績を上げられることをこころより期待しております。

今年はオリンピックイヤーであり、これほどバドミントン競技が注目を集めたことはありません。日本バドミントン協会として大変嬉しく思っている次第です。

本大会は、競技技術の向上を図る場であることはもちろん、健全なスポーツ精神を培う場であり、そしてお互いの親睦を深める場でもあります。勝敗だけにこだわることなく、この大会を通じて高等専門学校相互の親睦や交流がより一層深められ、さらに本大会で得られました友情や交流などが、今後の選手諸君の人生の中で生かされることも願ってやみません。

終わりに、本大会の開催にあたりましてご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝の意を表しますとともに、本大会の御成功、今後の御発展を心よりお祈り申し上げましてあいさつといたします。

歓迎のことば



北海道バドミントン協会
会長　岩崎昭郎

歴史とロマンの街函館に監督、選手の皆様、ようこそいらっしゃいました。

全国の予選を勝ち抜いて、母校の名誉をかけた熱い戦いを期待しています。

北海道協会は今年60周年の節目の年にあたります。その記念すべき年に全国高専大会が開催されることは大変喜ばしいことと心から歓迎をいたします。

出場される選手の皆様には暑い中での試合となりますが、体調管理に十分注意され、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、若さあふれる素晴しいプレーを展開されることを期待しております。

終わりに、本大会の開催にあたり、多大なご支援ご協力を賜りました関係者の皆様に心からお礼を申し上げ歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



函館地区バドミントン協会
会長　加藤清郎

第43回全国高等専門学校体育大会・第32回全国高等専門学校バドミントン選手権大会を北海道バドミントン発祥の地函館市で、全国各地から選手・監督の皆様をお迎えして開催出来ます事は、函館地区バドミントン協会にとりましてまことに喜ばしい事であり、心から歓迎申し上げます。

出場されます選手の皆様には、非常に厳しい状況下での試合となりますが、体調管理に十分注意され、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、若さあふれる素晴らしいプレーを展開されますと共に交友の輪を広げられます事を期待しております。

函館は明年開港150周年という節目を迎えますが、この機会に歴史的建造物、街並みの散策、世界三大夜景の一つ函館山夜景にも触れていただければ幸いに思います。

結びに本大会の開催に当り、多大なご支援ご協力を賜りました関係者の皆様に、心からお礼を申し上げ、歓迎のことばと致します。

大　会　日　程

［会　議］　８月２２日（金）　１６：００～　　代表者会議

［競　技］　函館市民体育館

８月２３日（土）　８：００　開場
９：００　開会式
１０：００　競技開始　　団体戦　　個人戦（複）

８月２４日（日）　８：００　開場
９：２０　競技開始　　個人戦（単）
競技終了後閉会式

式　典　次　第

開会式
１．開式のことば
２．開会宣言
３．文部科学大臣杯返還及び受賞章授与
４．日本バドミントン協会楯返還及び受賞章授与
５．主催者あいさつ
６．来賓あいさつ
７．競技役員長の注意
８．選手宣誓
９．閉式のことば

閉会式
１．開式のことば
２．成績発表
３．表彰
４．大会講評
５．開催校あいさつ
６．閉会宣言
７．閉式のことば

大 会 役 員

大会名誉会長	(財)日本バドミントン協会会長	綿貫　民輔
大 会 会 長	北海道知事	高橋はるみ
	函館市長	西尾　正範
大 会 会 長	(社)全国高等専門学校体育協会会長	長谷川　淳
大会副会長	(財)日本バドミントン協会副会長	三宅　祐司
	(財)日本バドミントン協会副会長	清水　　務
	(財)日本バドミントン協会専務理事	関根　義雄
	(社)全国高等専門学校体育協会副会長	黒田　勝彦
	(社)全国高等専門学校体育協会副会長	神野　　稔
	(社)全国高等専門学校体育協会副会長	秋山　俊彦
	(社)全国高等専門学校体育協会副会長	岸浪　建史
	(社)全国高等専門学校体育協会副会長	高橋　英明
	北海道バドミントン協会会長	岩崎　昭郎
	北海道バドミントン協会副会長	木本　由孝
	北海道バドミントン協会副会長	千葉　英守
	北海道バドミントン協会副会長	島中　貞夫
	北海道バドミントン協会副会長	栗原　　進
	北海道バドミントン協会副会長	笠井　武彰
	北海道バドミントン協会副会長	杉田　茂良
	北海道バドミントン協会副会長	上山　茂良
	北海道バドミントン協会副会長	津田　雅彰
	函館地区バドミントン協会会長	加藤　清郎
	函館地区バドミントン協会副会長	天野　暉彦
	函館地区バドミントン協会副会長	松田　重和
	函館地区バドミントン協会副会長	福田　侑司
	函館地区バドミントン協会副会長	佐々木堅治

大 会 顧 問

沓掛　哲男	森　喜朗	関谷　勝嗣	森田　　一
久間　章生	林　芳正	市川　一朗	伊藤　基記
加藤　三夫	宮澤　宏之	村上　忠治	八木橋伸夫
佐藤　　保	塩川　　甫	橋本　角市	相場　清一
権田　正一	丸山　嘉久	植田　博宣	原　二三雄
秋元　信一	清水規矩雄	平田登志郎	青木　昭二
池田　昌道	毛利　清志	川端　昇市	高橋　重夫
中島　寿禧	五十里光秋	内多小五郎	小宮　淳宏
吹田　修一	牧野　　武	村山　幸雄	戸田　清一
濵中　　誠	福岡　幸一	伊豆　　晃	岡本　武利
本郷　節生	今北　基夫	菊地　利明	野村　嘉明
日高　　壯	渡辺　成雄	伊藤　鑛一	小飼　栄一
里見　光徳	山根　　怜	佐藤　芳朗	竹林　克彦
油井　秀男	木村　　寛	遠井　稔男	北　　義一
花岡　牧夫			
地崎　昭宇	小飼　栄一	武田　　哲	横山　　真

	四宮　知之	木本　省三	桜場　政美	遠藤　　連
	三山　雄弘	瀬能　　晃	山腰　修司	永井　秀正
	赤川　賢二	草島　守之	秋山　和範	山田　龍一
	横山　　敏	伊勢　　武	青山　繁樹	宮崎　岩次
	一條　昌幸			
大会参与	岡村　英男	川島　一郎	富田　善明	板垣　隆房
	星野　忠男	藤本　　滋	藤原　和文	岩崎　昭郎
	加藤　寛治	原　　紀征	鈴木　勝之	藤原　　航
	地崎　昭宇			

大会委員長	函館工業高等専門学校長	長谷川　淳
大会副委員長	(社)全国高等専門学校体育協会	小野　雄一
	(財)日本バドミントン協会理事	河崎　正紀
	(財)日本バドミントン協会理事	阿部　秀夫
	(財)日本バドミントン協会理事	今井　茂満
	(財)日本バドミントン協会理事	上原　信彦
	(財)日本バドミントン協会理事	木戸　純一
	(財)日本バドミントン協会理事	銭谷　欽治
	(財)日本バドミントン協会理事	高橋　英夫
	(財)日本バドミントン協会理事	千葉　健夫
	(財)日本バドミントン協会理事	築地　孝彦
	(財)日本バドミントン協会理事	中山　紀子
	(財)日本バドミントン協会理事	野村　安忠
	(財)日本バドミントン協会理事	濵中　　勉
	(財)日本バドミントン協会理事	真壁　幹雄
	(財)日本バドミントン協会理事	松下　　力
	(財)日本バドミントン協会理事	三井　　裕
	(財)日本バドミントン協会理事	山田順一郎
	(財)日本バドミントン協会理事	福田　　武
	(財)日本バドミントン協会理事	菅原　周一
	(財)日本バドミントン協会理事	浅岡　　武
	北海道バドミントン協会副理事長	金田　隆一
	北海道バドミントン協会副理事長	北村　優明
	北海道バドミントン協会副理事長	笠井　正彰
	北海道バドミントン協会副理事長	吉野　幸広
	北海道バドミントン協会副理事長	渋井　敏紀
	函館工業高等専門学校学生主事	浦田　　清
	函館工業高等専門学校教務主事	切明　隆司
	函館工業高等専門学校事務部長	板橋　　博

競　技　役　員

競技役員長	(財)日本バドミントン協会	小藏　力
総務部長	函館地区バドミントン協会理事長	市田　悦雄
総務副部長	函館工業高等専門学校	古俣　和直
	函館工業高等専門学校学生課長	田邊　彰宏
	函館地区バドミントン協会	吉田　充
	函館地区バドミントン協会	藤島　百子
	函館地区バドミントン協会	谷口　諭
	函館地区バドミントン協会	池田　公貴
総務委員	後藤　等　森谷　健二　鳴海　雅哉	
	中村　尚彦　小原　寿幸　渡邊　力　平沢　秀之	
	中村　和之　泊　功　臼田　悦之　入江　俊明	
	長澤　修一　田淵　正幸　東海林智也	
	瀬川　裕　守谷　涼子	
競技審判部長	(財)日本バドミントン協会	鈴木　満弥
競技審判副部長	函館工業高等専門学校	今野　利美
	函館地区バドミントン協会	江刺家大介
	函館地区バドミントン協会	能登谷芳之
	函館地区バドミントン協会	福井　浩之
審判委員	三上　明　中村　稔　住田　茂　横川　寿輔	
	山名田君夫　上田　進也　星野　朋己　平山　智広	
	松田　勝則　下中　利之　安藝　宏和　村上　信一	
	宮崎　和貴　中西　節生　館　陽一郎　澤口　督範	
	濱谷　稔　大山　元司　河田　淳　小石　秀一	
	大島　義浩	
医務係	澤田　忍　秋元三千代	
競技補助員	北海道函館工業高等学校バドミントン部員	
	函館工業高等専門学校バドミントン部員	
	函館工業高等専門学校学生	

第４３回全国高等専門学校体育大会
第３２回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会競技要項

１．主　　催　　（社）全国高等専門学校体育協会、（財）日本バドミントン協会

２．主　　管　　（社）全国高等専門学校体育協会バドミントン競技専門部
北海道バドミントン協会
函館工業高等専門学校

３．後　　援　　文部科学省、(財)日本体育協会
北海道、北海道教育委員会、（財）北海道体育協会
函館市、函館市教育委員会、函館市体育協会、函館地区バドミントン協会

４．期　　日　　平成２０年８月２３日（土）・２４日（日）

５．会　　場　　函館市民体育館
〒０４０－０９３２　　北海道函館市湯川町１－３２－２
ＴＥＬ：０１３８－５７－３１４１

６．種　　目　　団体戦
個人戦　男子シングルス、男子ダブルス、女子シングルス、女子ダブルス

７．団体戦のチーム構成人員
監督1名，コーチ1名，マネージャー１名，選手８名以内
ただし，欠員を生じ３名以下になった場合は失格とする。

８．参加資格　　（１）申し込み期日迄に平成２０年度（財）日本バドミントン協会に登録を申請した者で、学校長が出場を認めた者とする。
（２）団体戦，個人戦とも各地区から選抜されたチーム又は選手とし、これに開催校の出場を加える。

地区割り，選抜数及び開催校出場枠は下記のとおりとする。

地区名	団体戦	男子個人戦		女子個人戦	
		単	複	単	複
北海道	１チーム	１名	１組	１名	１組
東北	１チーム	２名	２組	２名	２組
関東・信越	２チーム	２名	２組	２名	２組
東海・北陸	２チーム	２名	２組	２名	２組
近畿	１チーム	２名	２組	２名	２組
中国	１チーム	２名	２組	２名	２組
四国	１チーム	２名	２組	２名	２組
九州沖縄	２チーム	２名	２組	２名	２組
開催校	１チーム	１名	１組	１名	１組
計	１２チーム	１６名	１６組	１６名	１６組

９．競技規則　　平成２０年度(財)日本バドミントン協会競技規則並びに同大会運営規程及び同公認審判員規程による。

10．競技方法　　（１）各種目ともトーナメント戦方式により優勝を決定する。
なお，３位決定戦は行わない。
（２）団体戦は１複２単とし，複から試合を行う。

ただし，同一選手が同一対抗内に於いて重複することはできない。
（３）団体戦は、各チームの初戦に限り、１複２単の３試合を行い、以降は勝敗決定後を打ち切りとする。

11. 使用シャトル及び使用器具　平成２０年度（財）日本バドミントン協会審査・検定合格用器具及び第１種検定合格水鳥球を使用する。

12. 組み合わせ及び抽選　組み合わせ抽選は，本大会実施要項及び平成２０年度（財）日本バドミントン協会大会運営規程に拠り、競技役員長（レフェリー）の指示により、本大会実行委員会及び北海道バドミントン協会役員の責任に於いて７月３０日（水）に行う。

13. 表　　彰　団体戦，個人戦とも第１位から第３位までを表彰する。
（財）日本バドミントン協会の授与メダルは、優勝者に授与する。

14. 参加料　団体１チーム当たり１４，０００円、選手（団体戦出場者を除く）１人当たり１，７５０円とし，参加申込みと同時に次の振込口座へ納入すること。
なお、既納の参加料は返還しない。

振込口座　金融機関名　北洋銀行　湯川支店
口座種別　普通預金
口座番号　３４３０６０１
口座名　ｾﾞﾝｺｸｺｳｾﾝﾀｲｲｸﾀｲｶｲｼﾞﾑｷｮｸ
ﾊｺﾀﾞﾃｺｳｾﾝｶｲｹｲﾀﾝﾄｳﾓﾘｻﾞﾈﾄｼｶｽﾞ
全国高専体育大会事務局
函館高専会計担当　森實　利一

15. 参加申込
（１）申込期限　平成２０年７月２８日（月）必着
（２）申込先　〒042-8501　北海道函館市戸倉町１４番１号
函館工業高等専門学校学生課内
第４３回全国高等専門学校体育大会
第３２回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会事務局
ＴＥＬ：０１３８－５９－６３３４
ＦＡＸ：０１３８－５９－６３３０
（３）申込方法　所定の参加申込み用紙に必要事項を記入の上、２部作成し、上記事務局宛送付すること。

16. 代表者会議
（１）日　時　平成２０年８月２２日（金）　１６時から
（２）場　所　函館市民体育館会議室
（３）出席者　監督及び主将、大会役員等

17. 練　　習
（１）日　時　平成２０年８月２２日（金）　１０時から１７時
（２）場　所　函館市民体育館

18. 開会式及び閉会式
（１）開会式　平成２０年８月２３日（土）　９時　競技会場で行う。
（２）閉会式　平成２０年８月２４日（日）　競技終了後、同会場で行う。

19. 宿　　舎　別途通知し斡旋する。

20. そ の 他
（１）服　　装
競技中のウェアは、白色または色つき着衣を使用する場合は（財)日本バドミントン協会審査合格品とする。
①選手の上衣の背面中央に縦１５㎝、横３０㎝程度の大きさで、学校名

と選手の姓または都道府県名と学校名を上衣に映える配色で明示する。

②開会式、閉会式に参加するときの服装は、競技時の服装（ユニフォーム）又は、トレーニングウエアとする。

（２）応急処置等

①試合中の負傷については、大会本部で応急処置をするが、その後の処置は各学校及び各自で行うこと。

②健康保険証等は，各自で準備しておくこと。

③独立行政法人日本スポーツ振興センター所定の用紙を各学校で持参すること。

（３）大会出場者で、ホームページ、報道等に、個人名を公表して欲しくない者は、学校を通して大会事務局（gaksecho@hakodate-ct.ac.jp）に申し出てください。事前に申し出のない場合は、公表します。

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

競技運営上の注意

1. 本大会は平成２０年度（財）日本バドミントン協会競技規則並びに同大会運営規程に基づいて実施します。
2. 各校代表者は来場時に会場で受付を済ませて下さい。
3. 大会前日の練習は地区ごとにコートを指定します。
4. いずれの種目もトーナメント戦とします。3 位決定戦は行いません。優勝、準優勝、３位を表彰します。
5. 選手は試合のコールから５分以内に選手集合所に集合してください。主審の誘導でコートに入ります。コールから５分以上経過しても選手集合所に来ない場合は棄権となる場合があります。
6. 競技中は、コールのあった当該選手を除き、競技場内での練習は認めません。
7. 試合を開始する前に３分の練習時間を設けます。
8. 競技進行状況により、試合開始時刻或いはコートを変更する場合があります。
9. 競技中、各プレーヤーは着衣に学校名及び選手名を明示して下さい。
10. 団体戦のオーダー用紙は初戦分は代表者会議で、それ以降の分は主審が試合終了時に配布します。本部横のオーダー用紙交換所において対戦校代表者が双方のオーダー用紙を交換します。初戦分は８：４０に、それ以降については試合予定時間の３０分前を目安に放送をしますので、直ちにオーダー用紙を持参してください。
11. 団体戦は１複２単とし、複から試合を行います。ただし、同一選手が同一対抗内に於いて重複することはできません。また、各校の初戦に限り１複２単の３試合を行い、以降は勝敗決定後を打ち切りとします。
12. 団体戦は、時間の都合上複数のコートで同時に行います。
13. 個人戦において同一選手または組の試合が連続する場合、１０分の休憩時間を設けます。
14. インターバル中、コートに入れるのは当該選手のほかベンチ入りしている２人までとしますが、「２０秒」のコールがなされたら、選手以外の方は速やかにコートから離れてください。
15. 各試合終了時には、勝敗に関係なく主審及びサービスジャッジと握手するよう心がけてください。

審判上の注意

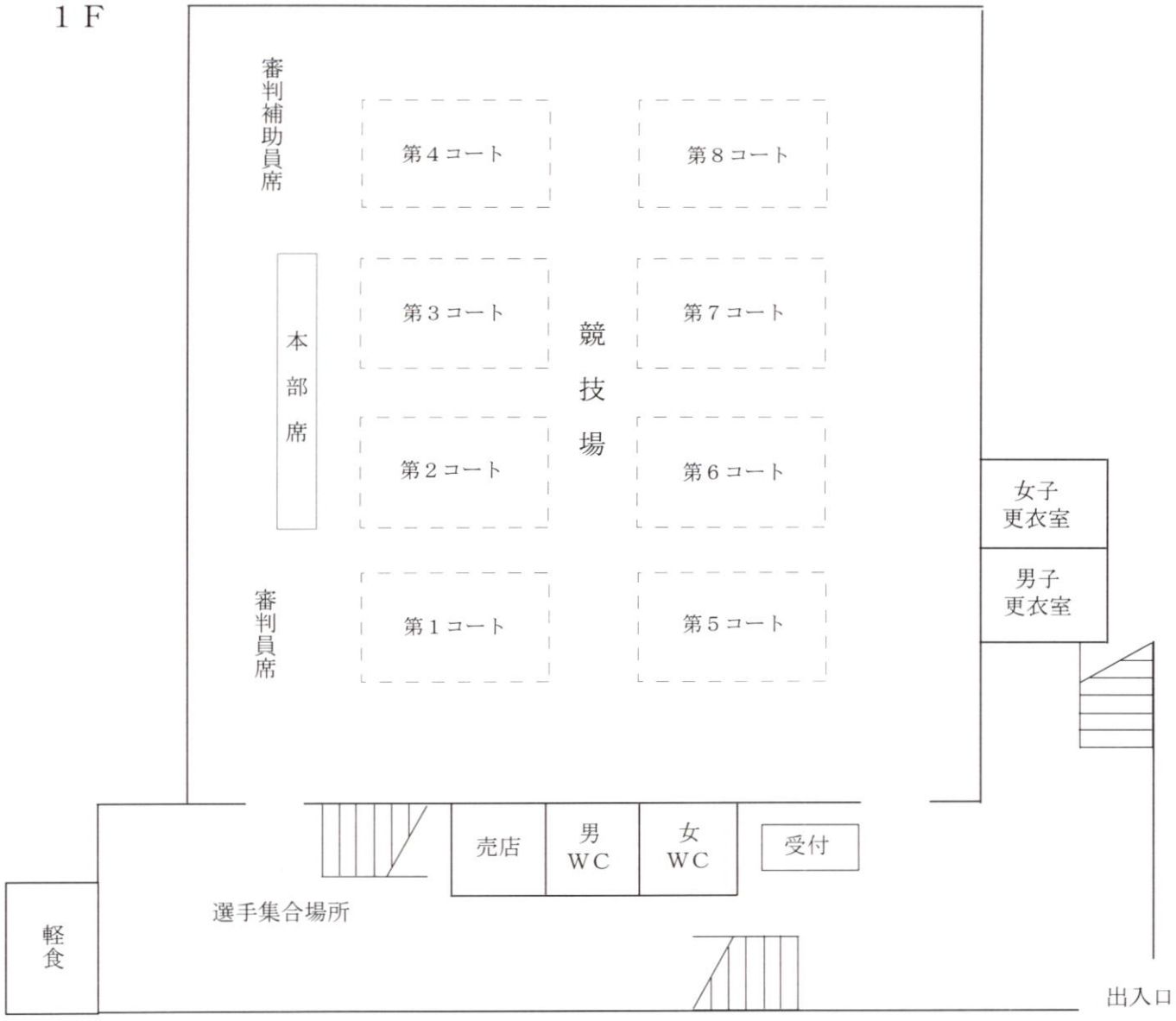
1. 平成２０年度（財）日本バドミントン協会競技規則及び同公認審判員規程により運営します。
2. すべてのゲームにおいて、一方のサイドが１１点になったら６０秒を超えないインターバルを認めます。また、すべてのマッチの第 1 ゲームと第２ゲームの間、第２ゲームと第３ゲームの間に 120 秒を超えないインターバルを認めます。
3. 各コートのコーチングシートは、監督、コーチ、マネージャーのみ使用できます。
4. 各コートのベンチに入ることのできる者は、団体戦の場合は当該チームの団体戦登録選手のみです。個人戦ではベンチを設けません。
5. 主審、線審、得点表示係は新居浜市バドミントン協会が行います。
6. 汗などでコートが濡れた場合は、主審の指示により線審が処置をします。
7. プレーヤーはどんな事があっても、体力や息切れの回復を目的に、またはアドバイスを受けるためにプレーを遅らせてはいけません。
8. 選手が試合中にアドバイスを受けることができるのは、シャトルがインプレーでない場合に限ります。
9. プレーヤーは第１６条第２項のインターバルを除き、マッチが終了するまで主審の許可なしにコートを離れてはいけません。

体育館使用上の注意

1. 学生としてのマナーを十分心がけてください。
2. 体育館内は土足禁止です。体育館入り口で上履に履き替えてください。
3. 貴重品、その他所持品は各自の責任において管理してください。
4. 観覧席は地区ごとに分けています。
5. 飲食はロビーまたは観覧席で行うこととし、競技フロアでは原則禁止です。ただし、競技中の水分補給については、ふた付きの容器を使用する場合に限り許可します。ベンチへのクーラーボックスの持ち込みは禁止します。
6. 会場でのフラッシュ撮影は、競技の妨げになりますので禁止します。
7. ごみは各校の責任においてお持ち帰りください。
8. 更衣室が利用できます。

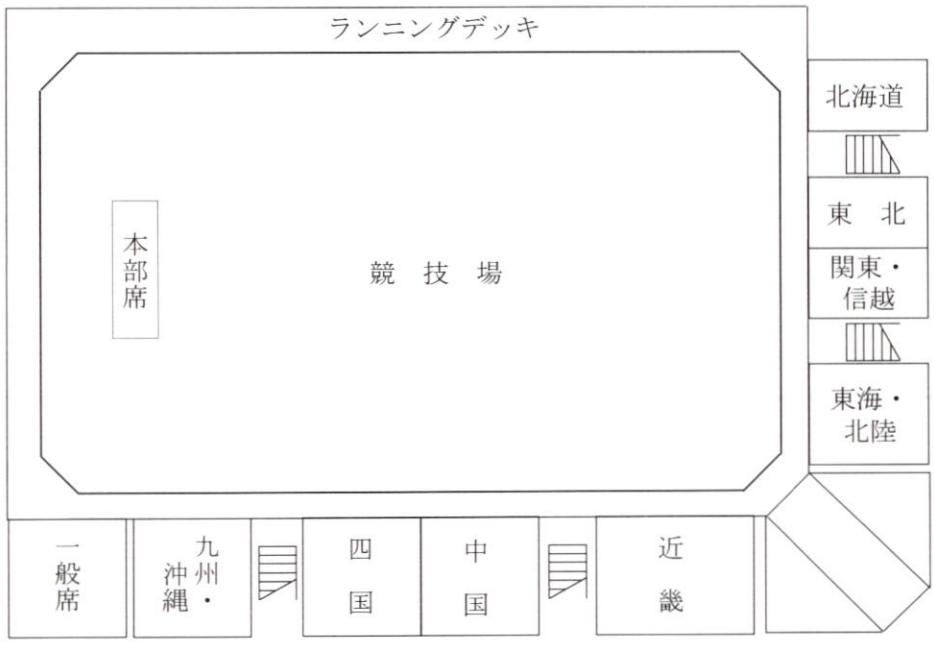
大会会場図

1F



2F

観覧席配置

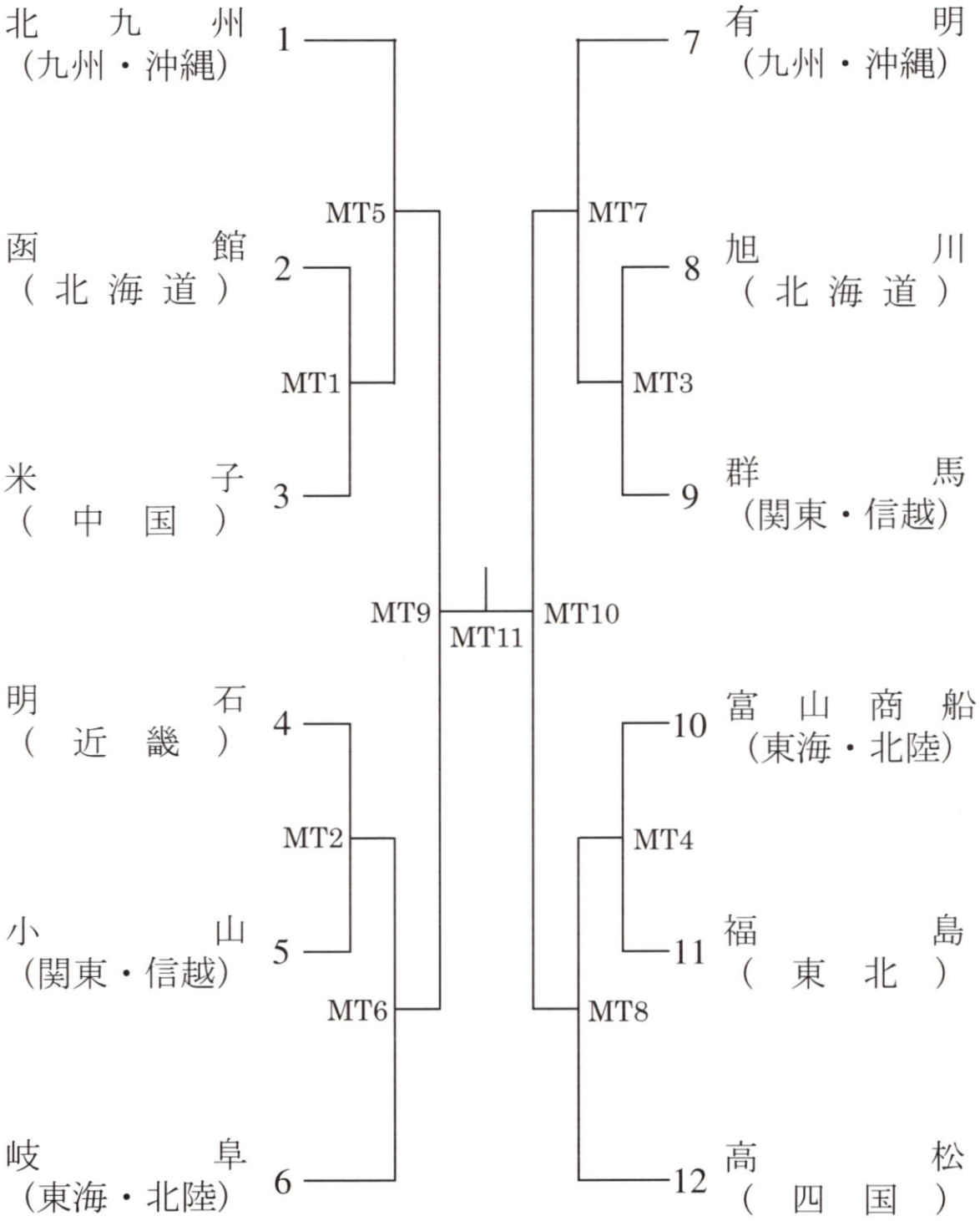


タイムテーブル

日	時刻	コート番号							
		1	2	3	4	5	6	7	8
第一日目（八月二三日）	9:00	開　　会　　式							
	10:00	MT 1		MT 2		MT 3		MT 4	
	10:30	WT 1		WT 2		WT 3		WT 4	
	11:30	MT 5		MT 6		MT 7		MT 8	
	12:00	WT 5		WT 6		WT 7		WT 8	
	13:10	MT 9		MT10		WT 9		WT10	
	14:20	MT11				WT11			
	15:00	MD 1	MD 2	MD 3	MD 4	MD 5	MD 6	MD 7	MD 8
	15:30	WD 1	WD 2	WD 3	WD 4	WD 5	WD 6	WD 7	WD 8
	16:10	MD 9	MD10	MD11	MD12	WD 9	WD10	WD11	WD12
	16:50	MD13	MD14			WD13	WD14		
	17:30	MD15				WD15			
第二日目（八月二四日）	9:20	MS 1	MS 2	MS 3	MS 4	MS 5	MS 6	MS 7	MS 8
	9:50	WS 1	WS 2	WS 3	WS 4	WS 5	WS 6	WS 7	WS 8
	10:30	MS 9	MS10	MS11	MS12	WS 9	WS10	WS11	WS12
	11:10	MS13	MS14			WS13	WS14		
	11:50	MS15				WS15			
	12:30	閉　　会　　式							

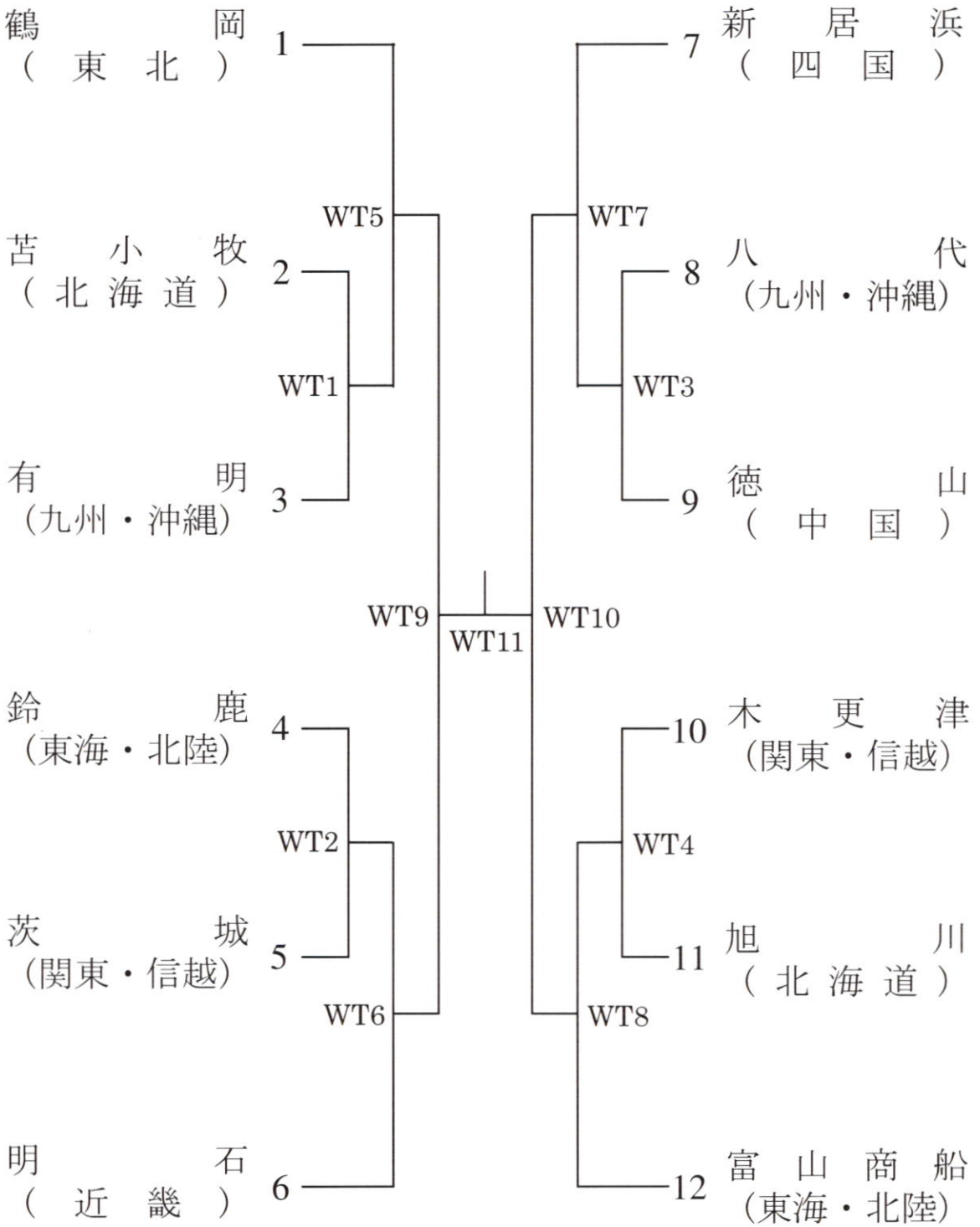
男子団体戦（MT），　男子個人戦単（MD），　男子個人戦複（MS）
女子団体戦（WT），　女子個人戦単（WS），　女子個人戦複（WD）

1．　男子団体戦



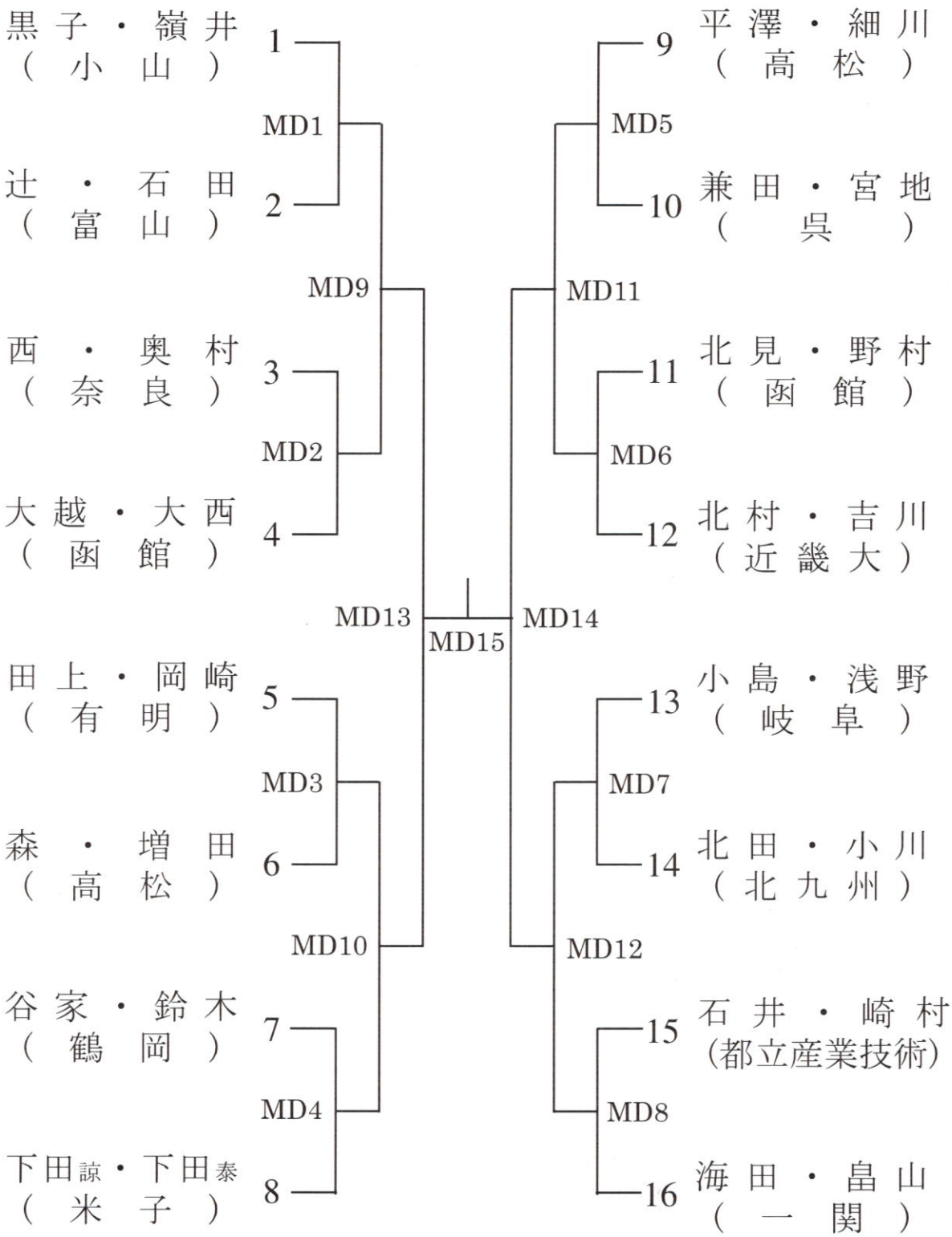
優勝		準優勝		第三位	

2.　女子団体戦



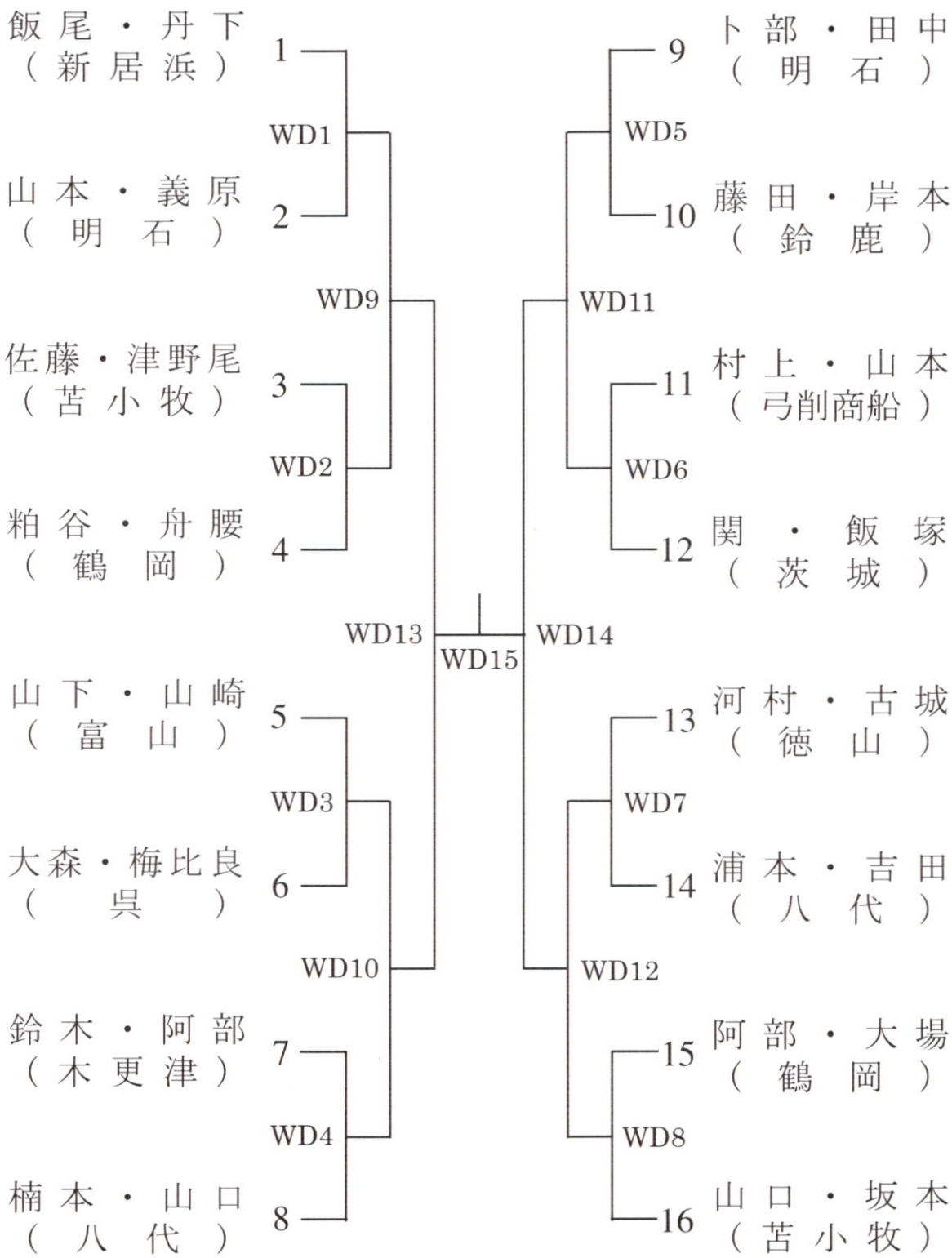
優勝		準優勝		第三位	

3.　男子個人戦（複）



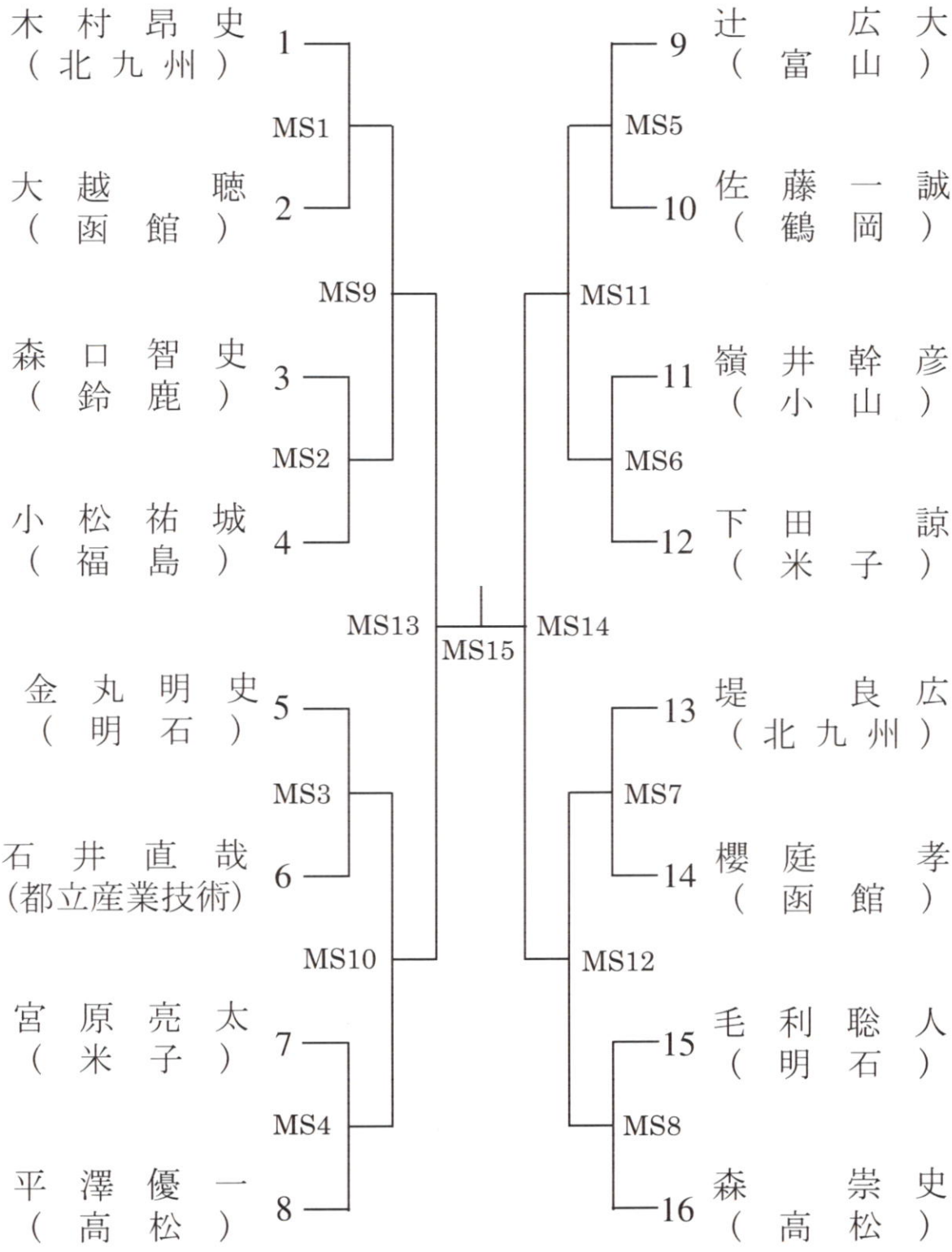
優勝		準優勝		第三位	

4.　女子個人戦（複）



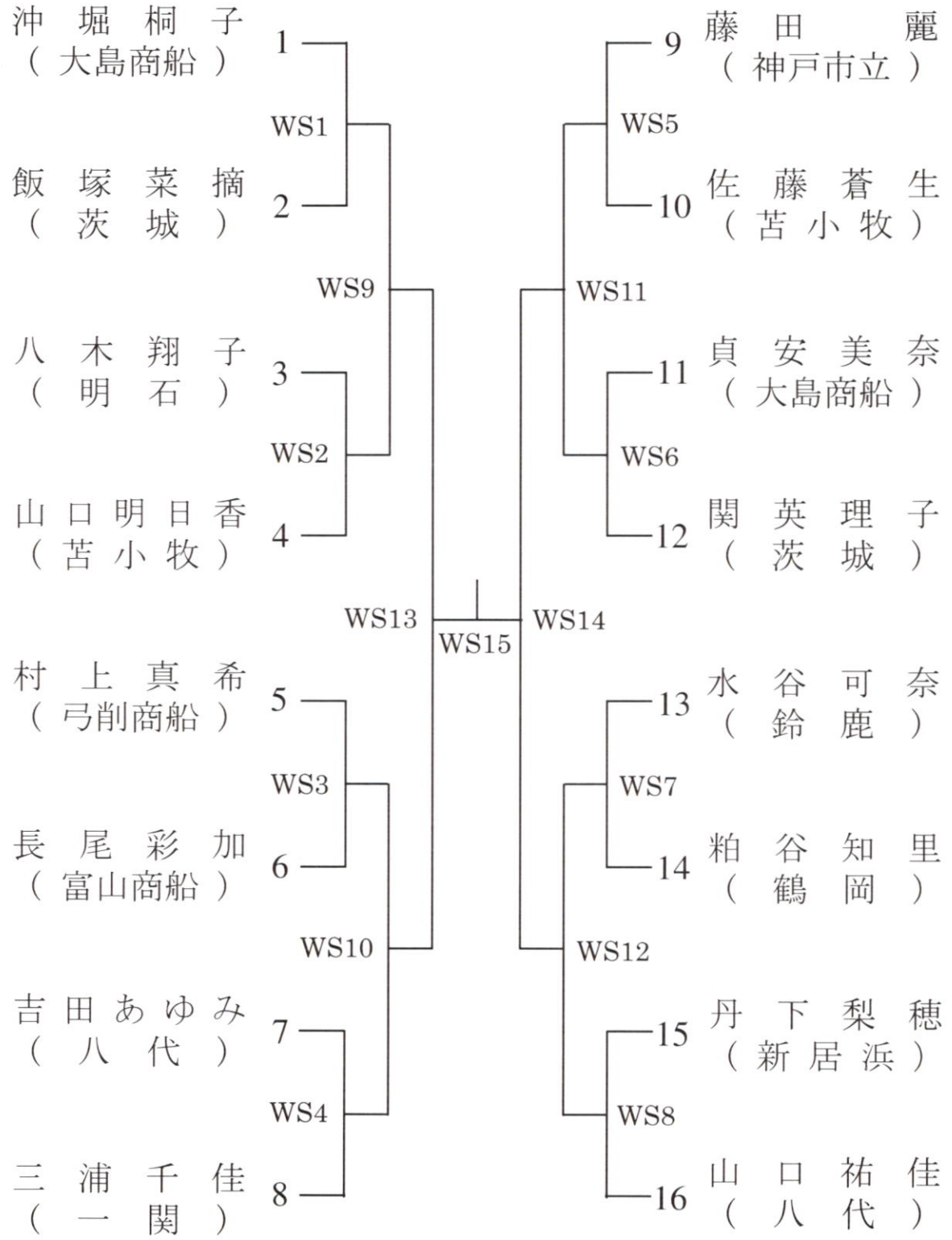
優勝		準優勝		第三位	

5.　男子個人戦（単）



優勝		準優勝		第三位	

6.　女子個人戦（単）



優勝		準優勝		第三位	

選　手　名　簿

北海道地区

学　校　名	函館工業高等専門学校
監　　督	森谷　健二
コ　ー　チ	今野　利美
マネージャー	河井　康宏

	男子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
①	さくらば　たかし 櫻庭　孝	5	①		○
2	おおこし　あきら 大越　聰	4	①	①	①
3	おおにし　たかひろ 大西貴博	4	①	①	
4	すどう　たかひと 須藤貴仁	4	①		
5	いただに　たくや 板谷拓哉	3	①		
6	いとう　りゅうじ 伊東龍治	3	①		
7	きたみ　しょうご 北見祥吾	3	①	②	
8	のむら　ひろき 野村広基	3	①	②	

学　校　名	苫小牧工業高等専門学校
監　　督	池田　愼一
コ　ー　チ	
マネージャー	

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	さとう　あおい 佐藤蒼生	5	①	②	②
②	つのおなおこ 津野尾尚子	5	①	②	
3	やまぐち　あすか 山口明日香	3	①	①	①
4	さかもと　まゆ 坂本茉由	3	①	①	
5	おだみさと 小田美里	3	①		
6	いのうえ　さき 井上紗希	2	①		
7	みずさわ　もえか 水澤萌花	2	①		

学　校　名	旭川工業高等専門学校
監　　督	降旗　康彦
コ　ー　チ	
マネージャー	

	男子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
①	たけだけいすけ 竹田圭佑	5	②		
2	くすのきさとし 楠悟史	5	②		
3	かんばやしこん 上林紺	5	②		
4	こだましょう 小玉翔	4	②		
5	しまざわゆきお 嶋澤幸男	4	②		
6	さとうしゅん 佐藤駿	3	②		
7	さのよしゆき 佐野良行	3	②		

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
①	きむらちひろ 木村千尋	4	②		
2	こまつりな 小松里奈	4	②		
3	わたなべえりか 渡邉えりか	3	②		
4	おのあゆみ 小野愛歩	3	②		

東北地区

学校名	福島工業高等専門学校
監督	松江　俊一
コーチ	
マネージャー	若生　夏樹

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	ながみね　ようすけ 永峰　陽介	4	①		
2	いしやま　ひろや 石山　宏哉	4	①		
3	こまつ　ゆうき 小松　祐城	4	①		①
④	ひさ　こういち 比佐　光一	4	①		
5	いとう　ひろのぶ 伊藤　勲信	3	①		
6	さとう　かずき 佐藤　一貴	2	①		
7	ほしの　ゆういち 星野　佑一	2	①		
8	まとば　しゅんすけ 的場　駿介	2	①		

学校名	一関工業高等専門学校
監督	千葉　圭
コーチ	
マネージャー	

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	かいた　あきひろ 海田　暁弘	4		①	
2	はたけやま　だいち 畠山　大地	4		①	

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	みうらち　か 三浦千　佳	4			①

学校名	鶴岡工業高等専門学校
監督	窪田　眞治
コーチ	中島　直樹
マネージャー	五十嵐　凌

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	さとう　かずしげ 佐藤　一誠	2			②
2	たにや　りゅうへい 谷家　竜平	5		②	
3	すずき　つよし 鈴木　剛	5		②	

監督	窪田　眞治
コーチ	中島　直樹
マネージャー	舟腰　磨結実

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	かすやちさと 粕谷知里	5	①	①	②
2	あべさおり 阿部彩織	5	①	②	
3	おおばいくみ 大場育美	4	①	②	
④	ふなこしかおり 舟腰佳織	4	①	①	
5	おくやまれみ 奥山怜未	4	①		
6	ふなこしなおみ 舟腰直美	1	①		
7	さいとうさき 齋藤沙紀	1	①		
8	せきつぐみ 関亜美	1	①		

関東信越地区

学校名	小山工業高等専門学校
監督	大岡　久子
コーチ	福井　康祐
マネージャー	石川　裕一

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	くろこ まさひろ 黒子　征宏	5	①	①	
②	みねい みきひこ 嶺井　幹彦	4	①	①	①
3	かみやま しんぺい 神山　慎平	4	①		
4	わたなべ なおと 渡辺　直登	4	①		
5	たきむら こうへい 瀧村　浩平	4	①		
6	ほさか かずあき 保坂　一晃	4	①		
7	さとう まさし 佐藤　雅士	3	①		
8	おおた なおき 大田　尚昴	3	①		

学校名	群馬工業高等専門学校
監督	中山　和夫
コーチ	小林　泰基
マネージャー	高橋　勇也

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
①	せきぐち だいすけ 関口　大介	4	②		
2	おのだ かずき 小野田　和希	3	②		
3	すだ かずほ 須田　一穂	3	②		
4	ながたけ かずき 長竹　一樹	3	②		
5	はとり たける 羽鳥　尊	3	②		
6	ふくだ なつき 福田　夏樹	3	②		
7	ひらた ゆうすけ 平田　悠介	2	②		
8	みうら たかつぐ 三浦　隆嗣	1	②		

学校名	東京都立産業技術(品川)高等専門学校
監督	平野　利幸
コーチ	
マネージャー	高橋　一馬

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	いしい なおや 石井　直哉	4		②	②
2	さきむら なおひで 崎村　直秀	4		②	

学　校　名	茨城工業高等専門学校
監　　督	奥山　慶洋
コ　ー　チ	
マネージャー	

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
①	せきえりこ 関　英理子	3	①	①	①
2	いいつかなつみ 飯塚菜摘	3	①	①	②
3	あおやぎあかね 青柳　茜	3	①		
4	たかむらゆきこ 高村有紀子	2	①		
5	かみながまほ 神永真帆	2	①		
6	みやもとなお 宮本奈緒	2	①		
7	みやのはるか 宮野　遥	2	①		

学　校　名	木更津工業高等専門学校
監　　督	歸山　智治
コ　ー　チ	東　雄二
マネージャー	中崎　竜也

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
①	すずきゆり 鈴木裕理	5	②	②	
2	ほくらちなみ 穂倉ちなみ	5	②		
3	あべななか 阿部ななか	1	②	②	
4	かどがみあすか 門上飛鳥	1	②		
5	おおつかたかこ 大塚敬子	1	②		
6	なかたさき 中田早紀	1	②		

東海北陸地区

学校名	岐阜工業高等専門学校
監督	所　哲郎
コーチ	渡辺　純也
マネージャー	川崎　剛洋

	男子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	じょうした　まさかず 城下　真和	5	①		
2	ふるた　まこと 古田　真人	5	①		
3	あんどう　まさおみ 安藤　雅臣	4	①		
④	こじま　せいや 小島　誠也	4	①	①	
5	まるやま　りょうじ 丸山　量志	4	①		
6	あさの　ゆうき 浅野　有貴	3	①	①	
7	ふじた　すぐる 藤田　卓	3	①		
8	やまだ　たかふみ 山田　貴文	3	①		

学校名	富山工業高等専門学校
監督	高田　英治
コーチ	山崎　真緒
マネージャー	浜屋　千亮

	男子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	つじ　こうだい 辻　広大	4		②	①
2	いしだ　こうき 石田　幸希	1		②	

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	やました　なほ 山下　奈穂	3		①	
2	やまざき　ゆき 山崎　由貴	1		①	

学校名	富山商船高等専門学校
監督	山本　桂一郎
コーチ	新開　純子
マネージャー	藤井　陽介

	男子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
①	あかがわ　りゅうのすけ 赤川　龍之介	5	②		
2	にしむら　ひとし 西村　仁志	4	②		
3	ち　ば　ゆうたろう 千葉　祐太朗	3	②		
4	きむら　まさひろ 木村　匡宏	3	②		
5	おおば　ゆうと 大場　友登	2	②		
6	いわや　たかはる 岩屋　太陽	2	②		
7	ふじい　しょうへい 藤井　祥平	2	②		
8	たなべ　けんと 田辺　健人	2	②		

監督	新開　純子
コーチ	山本　桂一郎
マネージャー	平野　晃祐

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
①	なかつぼ　さとみ 中坪　理美	5	①		
2	ながお　あやか 長尾　彩加	3	①		②
3	やまざき　みさと 山崎　美里	1	①		
4	かわい　あやか 河井　彩香	1	①		
5	やち　あやか 谷内　彩香	1	①		
6	もり　さとこ 森　聡子	3	①		

学　校　名	鈴鹿工業高等専門学校
監　　督	奥野　正明
コ　ー　チ	長原　滋
マネージャー	松尾　亮太

	男子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	もりぐち　さとし 森口　智史	4			②

監　　督	奥野　正明
コ　ー　チ	長原　滋
マネージャー	中尾　静香

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	みずたに　かな 水谷　可奈	5	②		①
②	ふじた　あさみ 藤田　麻実	4	②	②	
3	くにみ　さちえ 國見　祥恵	4	②		
4	はまむら　えりな 濱村　映里奈	3	②		
5	やすだ　あゆみ 保田　あゆみ	3	②		
6	きしもと　れいな 岸本　玲奈	3	②	②	
7	まつもと　はなえ 松本　英恵	3	②		
8	ひぐち　まりな 樋口　真里菜	3	②		

近畿地区

学校名	明石工業高等専門学校
監督	宮本　行庸
コーチ	
マネージャー	

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	安達直紀（あだちなおき）	5	①		
2	湯川和樹（ゆかわかずき）	5	①		
3	金丸明史（かなまるあきふみ）	3	①		①
4	山根壮一（やまねそういち）	3	①		
5	糟谷尚平（かすやしょうへい）	3	①		
6	野中健史（のなかたけし）	3	①		
⑦	毛利聡人（もうりあきひと）	3	①		②
8	貴治元気（きじげんき）	3	①		

監督	宮本　行庸
コーチ	安井　沙妃
マネージャー	田中　美沙紀

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	泉佳甫（いずみかほ）	4	①		
2	八木翔子（やぎしょうこ）	3	①		②
③	卜部真実（うらべまみ）	3	①	①	
4	山本舞夏（やまもとまいか）	3	①	②	
5	義原望実（よしはらのぞみ）	2	①	②	
6	安井佑佳（やすいゆか）	2	①		
7	田中麻由（たなかまゆ）	1	①	①	
8	八木日出美（やぎひでみ）	1	①		

学校名	近畿大学工業高等専門学校
監督	浦尾　彰
コーチ	
マネージャー	

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	北村哲郎（きたむらてつろう）	4		①	
2	吉川佳佑（よしかわけいすけ）	4		①	

学校名	奈良工業高等専門学校
監督	谷口　幸典
コーチ	
マネージャー	山下　純平

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	西敦史（にしあつし）	5		②	
2	奥村尋己（おくむらひろき）	3		②	

学校名	神戸市立工業高等専門学校
監督	笠井　正三郎
コーチ	
マネージャー	中　祥彦

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	藤田麗（ふじたれい）	5			①

中国地区

学校名	米子工業高等専門学校
監督	谷藤　尚貴
コーチ	谷本　明逸
マネージャー	

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
①	しもだりょう 下田　諒	4	①	①	①
2	しもだたいき 下田　泰樹	4	①	①	
3	おかもとけいすけ 岡本　佳祐	4	①		
4	はせがわたかゆき 長谷川　貴之	4	①		
5	しみずあきひろ 清水　章皓	3	①		
6	うえのひろあき 上野　裕亮	3	①		
7	みやはらりょうた 宮原　亮太	2	①		②
8	つばきあきと 椿　彰人	2	①		

学校名	呉工業高等専門学校
監督	重松　尚久
コーチ	垣内　博文
マネージャー	井上　雄太

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	かねだしんや 兼田　慎也	5		②	
2	みやちたかひと 宮地　敬士	4		②	

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	おおもりまお 大森　麻央	5		②	
2	うめひらゆみ 梅比良　友美	4		②	

学校名	大島商船高等専門学校
監督	杉村　佳昭
コーチ	
マネージャー	

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	おきほりきりこ 沖堀　桐子	5			①
2	さだやすみな 貞安　美奈	5			②

学校名	徳山工業高等専門学校
監督	栁澤　秀明
コーチ	近藤　圭晃
マネージャー	（大村　恵未）

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
①	おおむらめぐみ 大村　恵未	4	①		
2	かたやまみのり 片山　美乃里	3	①		
3	かわむらみさき 河村　美咲	1	①	①	
4	こじょうともこ 古城　朋子	1	①	①	

四国地区

学校名	高松工業高等専門学校
監督	吉永　慎一
コーチ	
マネージャー	木野　まど香

	男子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	もりたかし 森　崇史	5	①	②	②
2	ますだゆうじ 増田悠児	5	①	②	
3	みまやまさる 御厩　勝	5	①		
④	ひらさわゆういち 平澤優一	3	①	①	①
5	ほそかわたかき 細川隆喜	3	①	①	
6	おいけだいすけ 尾池大祐	3	①		
7	むらかみなおや 村上尚哉	1	①		
8	きむらこうへい 木村晃平	1	①		

学校名	弓削商船高等専門学校
監督	岩本　豊
コーチ	
マネージャー	

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
1	むらかみまき 村上真希	5		②	①
2	やまもととも こ 山本智子	3		②	

学校名	新居浜工業高等専門学校
監督	矢野　潤
コーチ	西谷　郁夫
マネージャー	

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
①	むらかみれな 村上怜奈	3	①		
2	いいおあゆみ 飯尾歩美	3	①	①	
3	おおたあんず 大田　杏	3	①		
4	たんげりほ 丹下梨穂	2	①	①	②
5	わたなべまなみ 渡邉麻菜美	2	①		
6	いいおなな 飯尾奈々	1	①		
7	たかなみひろみ 高浪広美	1	①		

九州沖縄地区

学校名	北九州工業高等専門学校
監督	白神　宏
コーチ	本郷　一隆
マネージャー	河野　杏奈

	男子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
①	きむらこうじ 木村昂史	5	①		②
2	つつみよしひろ 堤良広	5	①		①
3	かいじまだいすけ 貝嶋大輔	5	①		
4	いわたこうだい 岩田広大	5	①		
5	まいとこゆうき 毎床悠企	5	①		
6	ふくだりょう 福田遼	4	①		
7	きただゆうや 北田裕也	2	①	②	
8	おがわなおと 小川直人	1	①	②	

学校名	有明工業高等専門学校
監督	中島　洋典
コーチ	高松　竜二
マネージャー	黒田　哲史

	選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
①	さるわたりだいすけ 猿渡大祐	5	②		
2	たのうえたくや 田上拓弥	4	②	①	
3	いけがみたかひで 池上貴英	4	②		
4	たけかわひろゆき 武川浩之	3	②		
5	にしかわかずたか 西川和孝	3	②		
6	ふじもとしゅんいち 藤本駿一	3	②		
7	おかざきゆうすけ 岡崎雄介	1	②	①	
8	よしだこうへい 吉田康平	1	②		

監督	中島　洋典
コーチ	高松　竜二
マネージャー	三浦　知菜

	女子選手名	学年	団体	個人 複	個人 単
1	つかもとまゆみ 塚本真由美	5	②		
②	はぜもとゆい 杷元唯	4	②		
3	ふくむらみさき 福村美紗岐	4	②		
4	さかぐちのぞみ 坂口望	4	②		
5	うしじまゆか 牛島由夏	3	②		
6	しみずゆか 清水邑佳	2	②		
7	さかぐちゆき 坂口由起	1	②		
8	あいさかちえ 相坂千恵	1	②		

学　校　名	八代工業高等専門学校
監　　督	久保田　智
コ　ー　チ	
マネージャー	

	女子選手名	学年	団体	個人	
				複	単
①	うらもと　あけみ 浦本　明美	4	①	②	
2	くすもと　かすみ 楠本　香純	4	①	①	
3	やまぐち　ゆか 山口　祐佳	3	①	①	①
4	ほんだ　ちえ 本多　千恵	3	①		
5	よしだ　あゆみ 吉田　あゆみ	2	①	②	②
6	かわぐち　あかり 川口　愛可里	2	①		
7	いちむら　ななこ 一村　ななこ	1	①		
8	かもいけ　ちあき 鴨池　智耀	1	①		

栄　光　の　記　録

大会	会場	種目	1　位	2　位	3　位	
第一回	旭川	団体	宮城	長岡	佐世保	釧路
		個人(複)	山本和徳 平間次男 (宮城)	小林俊仁 池為弘 (旭川)	阿部順一 吉井正浩 (苫小牧)	
		個人(単)	小林俊仁 (旭川)	池為弘 (旭川)	本間道英 (長岡)	
第二回	宮城	団体	宮城	旭川	佐世保	長岡
		個人(複)	昆野良久 太田博道 (宮城)	小野裕 松浦勇 (宮城)	小山馨 谷茂則 (福井)	玉村嘉男 小竹原勝浩 (福井)
		個人(単)	昆野良久 (宮城)	金山尚幸 (高松)	小山馨 (福井)	小野裕 (宮城)
第三回	福井	団体	宮城	長岡	福井	旭川
		個人(複)	土田実 土田外志夫 (富山)	堀江定 永桶俊一 (長岡)	小野裕 松浦勇 (宮城)	大須賀弘行 竹内実 (宮城)
		個人(単)	大須賀弘行 (宮城)	山本憲幸 (旭川)	金山尚幸 (高松)	大久保ひとし (舞鶴)
第四回	米子	団体	長岡	米子	新居浜	鶴岡
		個人(複)	中本泰司 山本明良 (米子)	山田和彦 大須賀弘行 (宮城)	田沢寿一 館山健逸 (八戸)	涌井正樹 神田実 (長岡)
		個人(単)	中本泰司 (米子)	日野豊 (新居浜)	砂野修治 (新居浜)	小竹原勝浩 (福井)
第五回	新居浜	団体	新居浜	長岡	米子	宮城
		個人(複)	涌井正樹 神田実 (長岡)	日野豊 砂野修治 (新居浜)	田沢寿一 館山健逸 (八戸)	大須賀弘行 工藤洋之 (宮城)
		個人(単)	涌井正樹 (長岡)	日野豊 (新居浜)	中本泰司 (米子)	林浩一郎 (長岡)
第六回	北九州	団体	新居浜	米子	宮城	石川
		個人(複)	白石健司 堀内敬一 (新居浜)	中野浩之 酒井充英 (石川)	林浩一郎 岡村孝生 (長岡)	小野隆則 小島克 (北九州)
		個人(単)	林浩一郎 (長岡)	中本泰司 (米子)	山本明良 (米子)	蜂谷順 (茨城)
第七回	奈良	団体	石川	米子	高知	福島
		個人(複)	酒井充英 中松章一 (石川)	南康一 平沢則昭 (福井)	伊藤浩 岡村孝生 (長岡)	広原洋司 小室勤三 (茨城)
		個人(単)	小田高博 (高知)	南康一 (福井)	吉見正 (茨城)	山根直樹 (津山)
第八回	東京	団体	福島	新居浜	長岡	富山
		個人(複)	広原洋司 小室勤三 (茨城)	坂井政彦 前田栄造 (富山)	小田高博 北村竜 (高知)	鶴田浩康 秋山亨 (新居浜)
		個人(単)	小田高博 (高知)	山根直樹 (津山)	小谷清史 (米子)	中西英夫 (東京)
第九回	苫小牧	団体	福島	新居浜	旭川	東京
		個人(複)	大場岳史 田口義紀 (仙台電波)	太田海 阿部浩 (鶴岡)	城戸吉巳 秋山亨 (新居浜)	中西英夫 福田正宏 (東京)
		個人(単)	黒沢勝敏 (福島)	飯塚俊三 (福島)	酒井謙一 (福島)	秋山亨 (新居浜)

大会	会場	種目		1位	2位	3位	
第十回	福島	団体		福島	新居浜	佐世保	旭川
		個人(複)		酒井謙一 黒沢勝敏 (福島)	飯塚俊三 薄葉淳 (福島)	中西英夫 福田正宏 (東京)	田中博幸 山口誠 (佐世保)
		個人(単)		黒沢勝敏 (福島)	飯塚俊三 (福島)	井出利秀 (佐世保)	渡邊清隆 (佐世保)
第十一回	鈴鹿	団体		佐世保	茨城	津山	都立
		個人(複)		井出利秀 渡邊清隆 (佐世保)	西田光宏 谷本直文 (高知)	金浦新吾 横井善充 (新居浜)	薄葉淳 福田健太郎 (福島)
		個人(単)		井出利秀 (佐世保)	渡邊清隆 (佐世保)	薄葉淳 (福島)	堀部豊美 (苫小牧)
第十二回	津山	団体		佐世保	熊本電波	都立	福島
		個人(複)		六嘉孝信 郷健太郎 (熊本電波)	堀込竜也 元吉光一 (都立)	辻勉 木下聡 (佐世保)	西村雄 渡邊清隆 (佐世保)
		個人(単)		渡邊清隆 (佐世保)	元吉光一 (都立)	細川智之 (奈良)	田中真二 (宇部)
第十三回	新居浜	団体		佐世保	熊本電波	福島	富山
		個人(複)		渡邊清隆 濱野達矢 (佐世保)	野原嘉親 作内宗明 (富山)	林利和 樋口三明 (新居浜)	若林政昭 楢原健蔵 (神戸市立)
		個人(単)		渡邊清隆 (佐世保)	久保正高 (高知)	本木実 (熊本電波)	斎藤賢 (秋田)
第十四回	熊本	団体		熊本電波	東京	福島	新居浜
		男子	個人(複)	中島信頼 坂巻五郎 (東京)	上野敏弘 本木実 (熊本電波)	高畑憲明 持本治幸 (呉)	高畠剛 蔵本茂雄 (石川)
			個人(単)	中島信頼 (東京)	本木実 (熊本電波)	田中史八 (旭川)	高畑憲明 (呉)
		女子	個人(複)	小野祐里 三原久美 (新居浜)	安藤里美 新宅博子 (奈良)	松原ゆかり 斎藤早智子 (旭川)	中村律子 及川由紀 (一関)
			個人(単)	松原ゆかり (旭川)	上野真奈 (高知)	酒本亜希子 (津山)	安藤里美 (奈良)
第十五回	神戸	団体		福島	石川	旭川	宇部
		男子	個人(複)	井上晃志 井上大輔 (新居浜)	田尻真一 柴垣竜一 (熊本電波)	小西貴生 松尾富雄 (石川)	松尾勝司 鎌田聡 (苫小牧)
			個人(単)	中村一義 (福島)	蔵本茂雄 (石川)	田尻真一 (熊本電波)	安藤毅 (奈良)
		女子	個人(複)	安藤里美 新宅博子 (奈良)	小野祐里 三原久美 (新居浜)	石橋友加 平田宏美 (有明)	斉藤早智子 松原ゆかり (旭川)
			個人(単)	安藤里美 (奈良)	松原ゆかり (旭川)	上野真奈 (高知)	平尾なみ (高知)
第十六回	茨城	団体		宇部	苫小牧	福島	新居浜
		男子	個人(複)	立石健一 城戸幸信 (有明)	本田秀一 松原輝 (長岡)	小笹優 渡辺秀樹 (福島)	井上大輔 宮本誠司 (新居浜)
			個人(単)	安藤毅 (奈良)	塩見浩二 (新居浜)	松岡利幸 (宇部)	ルディ・ハンジャ (鈴鹿)
		女子	個人(複)	泉真由美 築城久美子 (奈良)	三次真美 柴垣知美 (熊本電波)	平田宏美 宮本理恵 (有明)	三篠公美子 高橋千春 (苫小牧)
			個人(単)	平田宏美 (有明)	柴垣知美 (熊本電波)	松原ゆかり (旭川)	谷智美 (呉)

大会	会場	種目		1　位	2　位	3　位	
第十七回	米子	団体		宇部	有明	長岡	奈良
		男子	個人(複)	安藤毅 岸谷征典 (奈良)	松尾勝司 鎌田聡 (苫小牧)	立石健一 城戸幸信 (有明)	松原輝 高橋章 (長岡)
			個人(単)	安藤毅 (奈良)	高橋章 (長岡)	安田春二 (高松)	牧嶋隆光 (有明)
		女子	個人(複)	泉真由美 築城久美子 (奈良)	高橋千春 戸子台明日香 (苫小牧)	岩佐美佳 稲田真由子 (米子)	福島千夏 渡辺真由子 (石川)
			個人(単)	泉真由美 (奈良)	松原ゆかり (旭川)	青山美由紀 (秋田)	稲田真由子 (米子)
第十八回	八戸	団体		苫小牧	有明	佐世保	福島千夏
		男子	個人(複)	福家信洋 山口真治 (奈良)	鎌田聡 井口一行 (苫小牧)	板橋淳一 古橋健 (仙台電波)	磯部貴弘 堺博明 (富山)
			個人(単)	エディ・スウェイト (久留米)	高橋章 (長岡)	鈴木直人 (福島)	福家信洋 (奈良)
		女子	個人(複)	平田宏美 永松瑞穂 (有明)	松原ゆかり 楠野由佳 (旭川)	伊藤寿子 大久保範子 (宮城)	泉真由美 築城久美子 (奈良)
			個人(単)	柴垣智美 (熊本電波)	永松瑞穂 (有明)	泉真由美 (奈良)	鴨川奈緒 (東京)
第十九回	舞鶴	団体		奈良	函館	北九州	呉
		男子	個人(複)	浅野慎吾 古橋健 (仙台電波)	辻本智彦 小池幸裕 (宮城)	前田孝彦 園田高士 (八代)	下田託郎 小川修 (苫小牧)
			個人(単)	古橋健 (仙台電波)	本山宏士 (呉)	福家信洋 (奈良)	高橋章 (長岡)
		女子	個人(複)	平田宏美 永松瑞穂 (有明)	稲田真由子 佐藤久美 (米子)	植松悦子 塩崎雪乃 (新居浜)	伊藤寿子 大久保範子 (宮城)
			個人(単)	柴垣智美 (熊本電波)	永松瑞穂 (有明)	稲田真由子 (米子)	鴨川奈緒 (東京)
第二十回	大分	団体		八代	宇部	旭川	佐世保
		男子	個人(複)	辻本智彦 小池幸裕 (宮城)	福家信洋 山口真治 (奈良)	宮崎宏志 川田恵寛 (宇部)	渡邊泰彦 高橋正亘 (函館)
			個人(単)	甲斐義樹 (北九州)	宮崎宏志 (宇部)	伊藤聖幸 (秋田)	小池幸裕 (宮城)
		女子	個人(複)	森崎優子 富田祐加 (八代)	渡辺真由子 稲沢理代 (石川)	鴨川奈緒 川畑千尋 (東京)	高橋千春 戸子台明日香 (苫小牧)
			個人(単)	柴垣智美 (熊本電波)	楠野由佳 (旭川)	稲沢理代 (石川)	堀内智美 (都城)
第二十一回	岐阜	団体		八代	仙台電波	苫小牧	呉
		男子	個人(複)	澤田浩介 横山弘 (高知)	斯波順一 齋藤太賀哉 (都立)	板橋明智 吉開亮介 (有明)	安藤俊雄 鹿屋啓一 (詫間電波)
			個人(単)	堺博明 (富山)	今村悦郎 (新居浜)	大江裕介 (岐阜)	仲山久也 (苫小牧)
		女子	個人(複)	鴨川奈緒 川畑千尋 (東京)	富田祐加 森崎優子 (八代)	渡辺真由子 稲沢理代 (石川)	中野裕貴枝 田中香織 (新居浜)
			個人(単)	鴨川奈緒 (東京)	山内沙織 (新居浜)	堀内智美 (都城)	楠野由佳 (旭川)
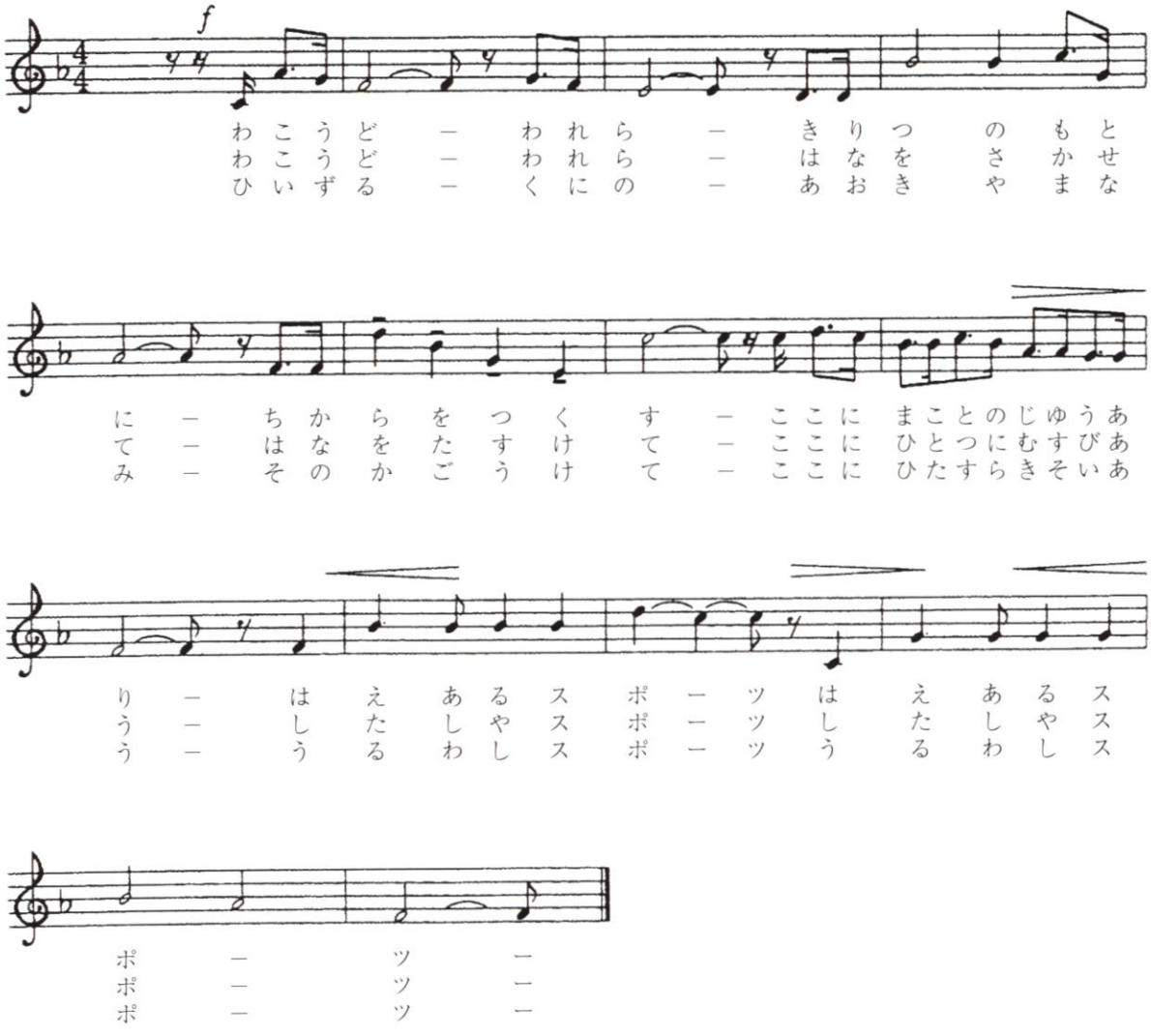
大会	会場	種目		1　位	2　位	3　位	
第二十二回	八王子	団体		八　代	高　知	呉	宮　城
		男子	個人(複)	鈴木崇史 菅原彰則 (宮城)	園上豊和 岩本雄治朗 (八代)	澤田浩介 横山弘 (高知)	齋藤太賀哉 鈴木文二朗 (都立)
			個人(単)	成毛章容 (東京)	滝澤貴志 (旭川)	横山弘 (高知)	澤田浩介 (高知)
		女子	個人(複)	堀内智美 臼井真美 (都城)	鈴木瑞恵 山内沙織 (新居浜)	東生恵 稲沢理代 (石川)	川畑千尋 林美紀子 (東京)
			個人(単)	堀内智美 (都城)	山内沙織 (新居浜)	稲沢理代 (石川)	東久美子 (鹿児島)
第二十三回	南国	団体		北九州	東京	仙台電波	新居浜
		男子	個人(複)	山田耕輔 有田友紀 (北九州)	板橋明智 吉開亮介 (有明)	大上真樹 宮崎篤 (米子)	成毛章容 川路武司 (東京)
			個人(単)	成毛章容 (東京)	横山弘 (高知)	宮崎篤 (米子)	園上豊和 (八代)
		女子	個人(複)	則元由美 福本弥生 (北九州)	堀内智美 臼井真美 (都城)	隠地宏恵 川﨑可奈子 (奈良)	川畑千尋 大山美香 (東京)
			個人(単)	福本弥生 (北九州)	則元由美 (北九州)	山内沙織 (新居浜)	岡田真理子 (秋田)
第二十四回	函館	団体		北九州	八　代	苫小牧	仙台電波
		男子	個人(複)	山田耕輔 有田友紀 (北九州)	園上豊和 岩本雄治朗 (八代)	松澤知紀 沢井陽介 (富山)	奥山洋輔 立花亮平 (仙台電波)
			個人(単)	吉開亮介 (有明)	成毛章容 (東京)	奥山洋輔 (仙台電波)	平岡旭洋 (鹿児島)
		女子	個人(複)	則元由美 福本弥生 (北九州)	川畑千尋 大山美香 (東京)	槍野可奈 井上絵美 (詫間電波)	隠地宏恵 川﨑可奈子 (奈良)
			個人(単)	福本弥生 (北九州)	槌田恵理香 (明石)	隠地宏恵 (奈良)	則元由美 (北九州)
第二十五回	呉	団体		北九州	東京	富山	佐世保
		男子	個人(複)	山田耕輔 有田友紀 (北九州)	奥村仁尚 内田裕和 (北九州)	宮崎篤 筒井達也 (米子)	北野靖樹 元木大輔 (詫間電波)
			個人(単)	奥村仁尚 (北九州)	北野靖樹 (詫間電波)	大澤壮史 (苫小牧)	安井孝児 (高松)
		女子	個人(複)	隠地宏恵 川﨑可奈子 (奈良)	柿木美紀 岡部広奈 (有明)	林美紀子 大山美香 (東京)	槌田恵理香 北條郁子 (明石)
			個人(単)	隠地宏恵 (奈良)	槌田恵理香 (明石)	佐伯有希子 (富山商船)	三瓶かおり (函館)
第二十六回	仙台	団体		北九州	富山	有明	苫小牧
		男子	個人(複)	山田耕輔 有田友紀 (北九州)	奥村仁尚 内田裕和 (北九州)	越智大輔 真木敬順 (新居浜)	高橋茂樹 曽我部大輔 (新居浜)
			個人(単)	内田裕和 (北九州)	奥村仁尚 (北九州)	大澤壮史 (苫小牧)	笹井謙一 (奈良)
		女子	個人(複)	岡部広奈 柿木美紀 (有明)	隠地宏恵 木村友子 (奈良)	大山美香 鈴木加津美 (東京)	越智彩美 酒井静佳 (新居浜)
			個人(単)	梅野晴美 (八代)	柿木美沙 (有明)	隠地宏恵 (奈良)	三瓶かおり (函館)

大会	会場	種目		1　位	2　位	3　位	
第二十七回	牧園	団体		北九州	富山	明石	秋田
		男子	個人(複)	上田淳一 垰畑陽平 (北九州)	森川智也 岡憲司 (高松)	髙崎康弘 山下茂喜 (富山)	阿部真樹 千田章裕 (宮城)
			個人(単)	有田友紀 (北九州)	伊藤広明 (秋田)	安井孝児 (高松)	生田目晃志 (東京)
		女子	個人(複)	馬瀬口奈都絵 松井はるか (富山)	野口真奈美 下村美奈子 (米子)	栂野晴美 上田知里 (八代)	柿木美沙 立山喜美恵 (有明)
			個人(単)	栂野晴美 (八代)	柿木美沙 (有明)	久保静佳 (鳥羽商船)	佐伯由希子 (富山商船)
第二十八回	富山	団体		北九州	富山	秋田	明石
		男子	個人(複)	垰畑陽平 阿部陽輔 (北九州)	辻永圭吾 伊藤広明 (秋田)	髙崎康弘 山下茂喜 (富山)	中西亮 大石勇佑 (富山)
			個人(単)	安井孝児 (高松)	長嶋隆一 (明石)	辻永圭吾 (秋田)	玉井淳基 (北九州)
		女子	個人(複)	馬瀬口奈都絵 松井はるか (富山)	栂野晴美 上田知里 (八代)	赤瀬美紗 米元麻由美 (大島商船)	勝又礼奈 久保静佳 (鳥羽商船)
			個人(単)	栂野晴美 (八代)	柿木美沙 (有明)	松井はるか (富山)	久保静佳 (鳥羽商船)
第二十九回	東京	団体		北九州	鶴岡	明石	有明
		男子	個人(複)	中嶋祐紀 垰畑陽平 (北九州)	安孫子拓也 晴山桂輔 (宮城)	大沼喜也 菅原康之 (鶴岡)	中田孝広 山光唯斗 (釧路)
			個人(単)	伊藤広明 (秋田)	森川智也 (高松)	田上拓弥 (有明)	生田目晃志 (東京)
		女子	個人(複)	馬瀬口奈都絵 松井はるか (富山)	沖堀桐子 貞安美奈 (大島商船)	舟腰磨結実 粕谷知里 (鶴岡)	猿渡都 柿木美沙 (有明)
			個人(単)	松井はるか (富山)	舟腰磨結実 (鶴岡)	佐藤真美 (旭川)	栂野晴美 (八代)
第三十回	舞鶴	団体		北九州	高松	有明	鈴鹿
		男子	個人(複)	池上慶祐 田上拓弥 (有明)	中田孝広 山光唯斗 (釧路)	木村昂史 堤良広 (北九州)	山下茂喜 辻広大 (富山)
			個人(単)	垰畑陽平 (北九州)	堤良広 (北九州)	中田孝広 (釧路)	生田目晃志 (東京)
		女子	個人(複)	馬瀬口奈都絵 松井はるか (富山)	舟腰磨結実 粕谷知里 (鶴岡)	沖堀桐子 貞安美奈 (大島商船)	佐藤南 小野寺菜穂 (一関)
			個人(単)	松井はるか (富山)	佐藤真美 (旭川)	沖堀桐子 (大島商船)	柿木美沙 (有明)
第三十一回	新居浜	男子	団体	北九州	高松	鈴鹿	有明
			個人(複)	木村昂史 堤良広 (北九州)	田上拓弥 池上貴英 (有明)	新居良紀 近藤啓太 (新居浜)	中田孝広 山光唯斗 (釧路)
			個人(単)	木村昂史 (北九州)	森崇史 (高松)	中田孝広 (釧路)	辻広大 (富山)
		女子	団体	鶴岡	富山	新居浜	近畿地区選抜
			個人(複)	舟腰磨結実 粕谷知里 (鶴岡)	松井はるか 山下奈穂 (富山)	的場梢 村上由衣 (新居浜)	沖堀桐子 貞安美奈 (大島商船)
			個人(単)	松井はるか (富山)	沖堀桐子 (大島商船)	川口愛里 (近畿大学)	山口祐佳 (八代)

全国高専体育大会の歌

山口誓子　作詞
大橋　博　作曲

行　進　曲



一、若人吾等
規律の下に
力を尽くす
ここにまことの
自由あり
栄えあるスポーツ
栄えあるスポーツ

二、若人吾等
花を咲かせて
花を援けて
ここに一つに
結び合ふ
親しやスポーツ
親しやスポーツ

三、日出づる国の
青き山脈
その加護受けて
ここにひたすら
競い合ふ
美しスポーツ
美しスポーツ


2008

